

# 行田市行財政集中改革プラン2022 (令和4年度上半期の進捗状況)

令和5年2月  
行 田 市

行田市行財政集中改革プラン2022取組項目一覧

柱	改革	取組項目	改革主管課	ページ
I スマート自治体 への転換による 市民サービスの 向上	1 ニューノーマルを意識した 便利なサービス	(1) 電子申請サービスの拡充	情報政策課	1～2
		(2) 公共施設予約手続きの簡素化	情報政策課	3～4
		(3) 使用料・手数料等のキャッシュレス決済の拡大	情報政策課	5～6
	2 デジタル技術を活用した 生活に役立つサービス	(4) GIGAスクール構想の推進	教育指導課	7～8
		(5) 行政情報発信の推進	広報広聴課	9～10
II 民間活力等の 活用や協働の 推進	3 民間活用による効率的な 公共サービスの提供	(6) 指定管理者制度活用施設の見直し	企画政策課	11～13
		(7) 地方公営企業の効率的な業務運営	上下水道経営課	14～15
	4 民間や他自治体との 協力・連携による行政 手法の多様化	(8) 市民・NPO・民間企業・大学との連携による各種事業の展開	企画政策課	16～17
		(9) 民間人材を活用した各種施策の展開	全所属	18～19
		(10) 他自治体との広域連携の推進	環境課	20～21
III 市役所風土 変革による 効率的・ 効果的な 行政運営	5 時代や状況の変化へ 弾力的に対応する組織と 人財づくり	(11) スマート自治体への転換を図るための組織体制の構築	企画政策課 情報政策課	22～23
		(12) さまざまな行政課題に対応できる職員の育成	企画政策課 全所属	24～25
	6 BPR(ビジネスプロセス・ リエンジニアリング)の 徹底	(13) 先端デジタル技術を活用した事務の効率化	情報政策課	26～27
		(14) ペーパーレスへの取組強化	総務課 企画政策課 情報政策課	28～29
		(15) テレワークの推進	情報政策課 人事課	30～31
		(16) 事務事業の改善・見直し	企画政策課 財政課	32～34
IV 持続可能な 財政運営の 実現	7 歳入確保と歳出抑制 による健全財政の堅持	(17) 使用料・手数料の見直し	企画政策課	35
		(18) 地方公営企業の経営健全化	水道課 下水道課 上下水道経営課	36～37
		(19) 自主財源確保の取組強化	税務課 企画政策課 財産管理課	38～43
		① 市税収入	税務課	38
		② ふるさと納税	企画政策課	39～40
		③ 新たな収入確保策・広告収入・自動販売機設置に係る入札	企画政策課 財産管理課	41～43
	(20) 補助金の見直し	財政課	44～45	
	8 市有施設等の適正な 管理・活用	(21) 遊休市有地等の有効活用	財産管理課	46～48
		(22) 常備消防(分署)の整理統合	消防総務課	49～50
(23) 公共施設におけるLED化の推進		財産管理課 施設所管課	51	

### 行田市行財政集中改革プラン2022 進捗管理シート

柱	I スマート自治体への転換による市民サービスの向上		改革主管課	総合政策部情報政策課																																																																																								
改革	1 ニューノーマルを意識した便利なサービス																																																																																											
取組項目	(1) 電子申請サービスの拡充																																																																																											
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 児童手当関係や水道使用開始の届出など11種類の申請手続が電子化されている。</li> <li>● 来庁が必要となる有料の手続や証明書等の授受が必要な手続では電子化が進んでいない。</li> <li>● R2年度の電子申請利用率は1.3% (電子入札を除く)</li> <li>● 電子申請サービスにおけるキャッシュレス決済をR4年度に導入予定</li> </ul>																																																																																											
目標達成に向けた取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャッシュレス決済と郵送を組み合わせた非来庁型サービスの提供</li> <li>・マイナンバーカードの普及促進</li> <li>・電子申請利用促進に向けた周知及び市民への支援</li> </ul>																																																																																											
令和6年度末時点であるべき姿	主要な行政手続(200手続以上)の電子化を実現																																																																																											
取組工程	令和4年度					令和5年度					令和6年度																																																																																	
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3																																																								
実施計画	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%; text-align: center;">申請フォーム作成</td> <td colspan="30"> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 申請フォーム作成(随時)</li> <li>● 電子申請導入勸奨(10月)</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">利用促進</td> <td colspan="30"> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 市ホームページ等で周知(通年) ※適宜情報更新</li> <li>● チラシ作成/各所属へ配架(10月)</li> <li>● チラシ見直し(6月)</li> </ul> </td> </tr> </table>																														申請フォーム作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 申請フォーム作成(随時)</li> <li>● 電子申請導入勸奨(10月)</li> </ul>																														利用促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 市ホームページ等で周知(通年) ※適宜情報更新</li> <li>● チラシ作成/各所属へ配架(10月)</li> <li>● チラシ見直し(6月)</li> </ul>																													
申請フォーム作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 申請フォーム作成(随時)</li> <li>● 電子申請導入勸奨(10月)</li> </ul>																																																																																											
利用促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 市ホームページ等で周知(通年) ※適宜情報更新</li> <li>● チラシ作成/各所属へ配架(10月)</li> <li>● チラシ見直し(6月)</li> </ul>																																																																																											
進捗状況 (実績・見込み)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%; text-align: center;">申請フォーム作成</td> <td colspan="30"> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 申請フォーム作成(随時)</li> <li>● 電子申請導入勸奨(10月)</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">利用促進</td> <td colspan="30"> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 市ホームページ等で周知(通年) ※適宜情報更新</li> <li>● チラシ作成/各所属へ配架(2月)</li> </ul> </td> </tr> </table>																														申請フォーム作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 申請フォーム作成(随時)</li> <li>● 電子申請導入勸奨(10月)</li> </ul>																														利用促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 市ホームページ等で周知(通年) ※適宜情報更新</li> <li>● チラシ作成/各所属へ配架(2月)</li> </ul>																													
申請フォーム作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 申請フォーム作成(随時)</li> <li>● 電子申請導入勸奨(10月)</li> </ul>																																																																																											
利用促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 市ホームページ等で周知(通年) ※適宜情報更新</li> <li>● チラシ作成/各所属へ配架(2月)</li> </ul>																																																																																											

3年間(R4-6年度)の具体的な取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>電子申請手続きのフォーム作成について、毎年、庁内メールで周知する。特にキャッシュレス決済を利用した手続きについては、対象となる所属に対して個別に働き掛ける。</li> <li>電子申請利用促進に向け周知する。各所属に対してチラシや市ホームページを活用し、市民等に周知するよう促す。</li> </ul>					
R4上半期の取組実績(4月～9月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>「住民票の写し」、「戸籍謄・抄本」交付申請など17業務において、4月1日からキャッシュレス決済と郵送を組み合わせた非来庁型サービスの提供を開始し、市ホームページによる周知を図った。</li> </ul>					
R4下半期の取組予定(10月～3月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、可能なものから電子申請フォームを作成するよう各所属に周知し、非来庁型サービスのさらなる向上を図る。</li> <li>電子申請の利用促進を図るための周知用チラシを作成し、各所属の窓口等に配架する。</li> </ul>					
活動指標	指標名／説明		基準値	R4	R5	R6
	電子申請手続数(累積)	計画	19手続(R2)	100手続以上	150手続以上	200手続以上
成果指標	指標名／説明		基準値	R4	R5	R6
	電子申請利用率	計画	1.3%(R2)	4%	6%	10%
備考						

### 行田市行財政集中改革プラン2022 進捗管理シート

柱	I スマート自治体への転換による市民サービスの向上		改革主管課	総合政策部情報政策課																																
改革	1 ニューノーマルを意識した便利なサービス																																			
取組項目	(2) 公共施設予約手続きの簡素化																																			
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 予約時に、申請書の記入のために来庁が必要であり、利用者の負担となっている。</li> <li>● システム導入により手軽に予約が可能になる一方、複数の仮予約や直前キャンセルにより、他の利用者の利用機会が失われる可能性がある。</li> <li>● システム利用の運用ルール定め、利用者に遵守してもらう必要がある。</li> </ul>																																			
目標達成に向けた取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設予約システム導入施設の拡充</li> <li>・業務フローの見直し及び運用ルールの周知徹底</li> <li>・利用者向けシステム利用マニュアルの作成、周知</li> </ul>																																			
令和6年度末時点であるべき姿	予約を受け付けている施設のうち40施設でオンライン予約が可能																																			
取組工程	令和4年度			令和5年度			令和6年度																													
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
実施計画	<div style="display: flex; flex-direction: column;"> <div style="margin-bottom: 10px;"> <p>● <span style="display: inline-block; width: 100px; border-bottom: 1px solid black; margin-bottom: 2px;"></span> R5年度導入施設決定(4月～8月)</p> </div> <div style="margin-bottom: 10px;"> <p>● <span style="display: inline-block; width: 100px; border-bottom: 1px solid black; margin-bottom: 2px;"></span> 次年度導入施設所管課に対して業務フロー等の作成指示/導入フォロー(9月～翌年5月)</p> </div> <div style="margin-bottom: 10px;"> <p>● <span style="display: inline-block; width: 100px; border-bottom: 1px solid black; margin-bottom: 2px;"></span> 新規施設(11施設)運用開始(6月～)</p> </div> <div style="margin-bottom: 10px;"> <p>● <span style="display: inline-block; width: 100px; border-bottom: 1px solid black; margin-bottom: 2px;"></span> R6年度導入施設の決定(4月～8月)</p> </div> <div style="margin-bottom: 10px;"> <p>● <span style="display: inline-block; width: 100px; border-bottom: 1px solid black; margin-bottom: 2px;"></span> 次年度導入施設の所管課に対して業務フロー等の作成指示/導入フォロー(9月～翌年5月)</p> </div> <div style="margin-bottom: 10px;"> <p>● <span style="display: inline-block; width: 100px; border-bottom: 1px solid black; margin-bottom: 2px;"></span> 新規施設(9施設)での運用開始(6月～)</p> </div> </div>																																			
効果検証	<div style="display: flex; flex-direction: column;"> <div style="margin-bottom: 10px;"> <p>● <span style="display: inline-block; width: 100px; border-bottom: 1px solid black; margin-bottom: 2px;"></span> 前年度システム利用率調査(4月～6月)</p> </div> <div style="margin-bottom: 10px;"> <p>● <span style="display: inline-block; width: 100px; border-bottom: 1px solid black; margin-bottom: 2px;"></span> 前年度システム利用率調査(4月～6月)</p> </div> </div>																																			
利用促進	<div style="display: flex; flex-direction: column;"> <div style="margin-bottom: 10px;"> <p>● <span style="display: inline-block; width: 100px; border-bottom: 1px solid black; margin-bottom: 2px;"></span> 市ホームページ等で周知(通年)</p> </div> <div style="margin-bottom: 10px;"> <p>● <span style="display: inline-block; width: 100px; border-bottom: 1px solid black; margin-bottom: 2px;"></span> チラシ作成、施設所管課へ配架(9月)</p> </div> <div style="margin-bottom: 10px;"> <p>● <span style="display: inline-block; width: 100px; border-bottom: 1px solid black; margin-bottom: 2px;"></span> システム導入施設でPR(9月～)</p> </div> <div style="margin-bottom: 10px;"> <p>● <span style="display: inline-block; width: 100px; border-bottom: 1px solid black; margin-bottom: 2px;"></span> 市ホームページ等で周知(通年) ※適宜情報更新</p> </div> <div style="margin-bottom: 10px;"> <p>● <span style="display: inline-block; width: 100px; border-bottom: 1px solid black; margin-bottom: 2px;"></span> チラシ見直し(7月)</p> </div> <div style="margin-bottom: 10px;"> <p>● <span style="display: inline-block; width: 100px; border-bottom: 1px solid black; margin-bottom: 2px;"></span> 市ホームページ等で周知(通年) ※適宜情報更新</p> </div> <div style="margin-bottom: 10px;"> <p>● <span style="display: inline-block; width: 100px; border-bottom: 1px solid black; margin-bottom: 2px;"></span> チラシ見直し(7月)</p> </div> </div>																																			

取組工程	令和4年度												令和5年度												令和6年度												
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
進捗状況 (実績・見込み)	新規施設へのシステム導入	● R5年度導入施設決定(4月～8月)												● 次年度導入施設所管課に対して業務フロー等の作成指示/導入フォロー(9月～翌年5月)																							
	効果検証																																				
	利用促進	● 市ホームページ等で周知(通年)												● チラシ作成、施設所管課へ配架(2月)												● システム導入施設でPR(11月～)											
3年間(R4-6年度)の具体的な取組内容		<ul style="list-style-type: none"> <li>・システム管理によるメリット、デメリットについて、施設所管課へのヒアリングを行った上で整理し、円滑な運用に向けた支援を行っていく。</li> <li>・公共施設予約システムについて、市ホームページ及び市公式SNS(LINE、ツイッター、フェイスブック等)で周知するとともに、施設利用者へ直接的な働き掛けを行うことにより、システム利用率を上げていく。</li> </ul>																																			
R4上半期の取組実績(4月～9月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度に公共施設予約システムを導入する施設の候補を決定した。</li> <li>・「スマートフォン講習会」において、公共施設予約システムの利用者登録と利用方法を解説し、利用促進を図った。</li> </ul>																																				
R4下半期の取組予定(10月～3月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設予約システムの利用促進を図るため、チラシの作成等を通じて利用率の向上を図る。</li> <li>・令和5年度導入予定の施設所管課に対して業務フローの作成を指示し、円滑な運用に向けて支援する。</li> </ul>																																				
活動指標	指標名/説明		基準値		R4		R5		R6		計画		実績		計画		実績		計画		実績		計画		実績		計画		実績		計画		実績				
	新規導入施設数		—		20施設で導入済 新規導入施設検討		11施設		9施設																												
成果指標	指標名/説明		基準値		R4		R5		R6		計画		実績		計画		実績		計画		実績		計画		実績		計画		実績		計画		実績				
	システム利用率		—		5%		12%		15%																												
備考																																					

### 行田市行財政集中改革プラン2022 進捗管理シート

柱	I スマート自治体への転換による市民サービスの向上		改革主管課	総合政策部情報政策課																																
改革	1 ニューノーマルを意識した便利なサービス																																			
取組項目	(3) 使用料・手数料等のキャッシュレス決済の拡大																																			
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>●市民課、税務課、古代蓮会館、体育施設、はにわの館、郷土博物館でキャッシュレスサービスを導入済み</li> <li>●郷土博物館、古代蓮の里などの集客施設は比較的用户が多いが、市役所窓口では利用者が少ない。</li> </ul>																																			
目標達成に向けた取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャッシュレス決済サービスを導入する施設及び窓口の拡大の検討</li> <li>・キャッシュレス決済サービス利用促進に向けた周知</li> </ul>																																			
令和6年度末時点であるべき姿	28施設、5窓口でキャッシュレス化を実現																																			
取組工程	令和4年度			令和5年度			令和6年度																													
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
実施計画	キャッシュレスの導入施設・窓口の拡大 ● 施設及び窓口所管課へ導入勧奨 ● 決済手段の決定 (9月) ● 導入に係る事務手続きの支援 (11月～翌年3月)					● 運用開始 (5月～) ● 利用状況等の検証 (10月)					● 利用状況等の検証 (10月)																									
利用促進	● 各施設及び窓口で利用促進 (通年)					● 各施設及び窓口で利用促進 (通年)					● 各施設及び窓口で利用促進 (通年)																									
						● ポスター、チラシ等の雛形作成、各施設及び窓口へ配架 (2月～3月)					● ポスター、チラシ見直し (6月)																									
進捗状況 (実績・見込み)	● 施設及び窓口所管課へ導入勧奨 ● 決済手段の決定 (9月) ● 導入に係る事務手続きの支援 (11月～翌年3月)																																			
利用促進	● 各施設及び窓口で利用促進 (通年)					● 各施設及び窓口で利用促進 (通年)																														
						● ポスター、チラシ等の雛形作成、各施設及び窓口へ配架 (2月～3月)																														

3年間(R4-6年度)の具体的な取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャッシュレス決済可能な施設・窓口がある各課に説明や事例紹介を実施し、導入を勧奨する。</li> <li>・導入予定の施設及び所属に対して、決済代行業者の告示や会計処理の手順などを説明し、円滑な運用に向けて支援する。</li> <li>・ポスター、チラシなどを利用し、市民に向けた利用促進を図る。</li> </ul>					
R4上半期の取組実績(4月～9月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設及び窓口所管課に対して、令和5年度以降の運用開始に向けてキャッシュレス決済を導入することを勧奨した。</li> <li>・9月に導入経費のかからない決済手段として、来庁者がQRコードを読み取る方式を採用することで方針決定した。</li> </ul>					
R4下半期の取組予定(10月～3月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度に導入予定の施設及び所属に対して導入に係る事務手続きの支援を行っていく。</li> <li>・年度末の2月から3月にかけてキャッシュレス決済に関するポスター、チラシ等の雛形を作成し、各窓口担当課に対して配架を依頼するなどして利用促進を図っていく。</li> </ul>					
活動指標	指標名／説明		基準値	R4	R5	R6
	キャッシュレス決済導入施設・窓口数(累計)	計画	4施設、2窓口(R3)	4施設、2窓口	28施設、5窓口	28施設、5窓口
		実績	—			
	利用率向上の取組み	計画	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・決済方法拡大検討</li> <li>・利用促進</li> </ul>	→	→
実績		—				
成果指標	指標名／説明		基準値	R4	R5	R6
	利用率	計画	0.46%(R2)	7%	12%	17%
		実績	—			
	支払時間の短縮	計画	2時間	100時間	200時間	300時間
実績		—				
備考						



行田市行財政集中改革プラン2022 進捗管理シート

柱	I スマート自治体への転換による市民サービスの向上		改革主管課	教育部教育指導課																															
改革	2 デジタル技術を活用した生活に役立つサービス																																		
取組項目	(4) GIGAスクール構想の推進																																		
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>●R2年度に児童生徒及び教員用の学習用端末の整備が完了するとともに各教室に大型モニターを配備</li> <li>●家庭にインターネット環境が整っていない世帯へ、貸出用モバイルルーターを整備</li> <li>●教員のICT活用指導力の向上が急務となっている</li> </ul>																																		
目標達成に向けた取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT支援員による教員への支援</li> <li>・授業や家庭でのICT機器の積極的な活用</li> </ul>																																		
令和6年度末時点であるべき姿	全ての児童生徒が ICT 機器を活用して意欲的に学んでいる。																																		
取組工程	令和4年度			令和5年度			令和6年度																												
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
実施計画	授業及び家庭学習でのICT機器活用頻度及び教員の活用能力を高める取組み																																		
	ICT支援員による児童生徒への補助(4月～7月、9月～翌年3月) 児童・生徒へのアンケート(3月) 教員へのアンケートの実施・分析(9月・翌年2月) ICT支援員による教員への指導・助言、活用例の共有(通年、各校月2回程度) 市教育委員会による教員への指導・助言、活用例の共有(通年、各校月2回程度) 校内リーダーによる自主研修(新規教職員向け研修等)(通年) 情報教育主任研修会(8月)																																		
進捗状況(実績・見込み)	授業及び家庭学習でのICT機器活用頻度及び教員の活用能力を高める取組み																																		
	ICT支援員による児童生徒への補助(4月～7月、9月～翌年3月) 児童・生徒へのアンケート(3月) 教員へのアンケートの実施・分析(10月・翌年2月) ICT支援員による教員への指導・助言、活用例の共有(通年、各校月2回程度) 他市先進校視察(11月) 情報教育主任研修会(8月)																																		

3年間(R4-6年度)の具体的な取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>ICT支援員を各校へ2週間に1回程度配置し、授業におけるICT機器活用を支援していく。</li> <li>教職員へ定期的なアンケートを実施、分析し、教職員のICT活用能力の実態に応じた支援策を講じる。</li> <li>校長会や教頭会、情報教育主任会等で活用を促すよう要請するとともに、随時、情報提供を行っていく。</li> </ul>					
R4上半期の取組実績(4月～9月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ICT支援員を各校へ月2回程度配置し、校内研修及び授業支援を実施した。</li> <li>6月から市教育委員会による「授業力向上研修」を実施し、各教員に対してICT機器を活用した授業の改善方法について指導、助言を行った。</li> <li>夏季休業中の8月に開催した教員向け「情報教育主任研修会」において、指導者用デジタル教科書や学習eポータル活用の活用に関する研修を実施し、各校に持ち帰り情報共有を図った。</li> </ul>					
R4下半期の取組予定(10月～3月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、ICT支援員による支援や「授業力向上研修」を通して、教員のICT機器を活用した授業改善を図っていく。</li> <li>児童・生徒及び教員向けアンケート結果をもとに、授業の実態に応じた支援策を各校へ横展開を図る。</li> <li>タブレット端末の活用拡大のため、先進自治体である久喜市を視察し、授業での活用の様子を把握する。</li> </ul>					
活動指標	指標名／説明		基準値	R4	R5	R6
	教員研修	計画	—	実施	—	—
成果指標	指標名／説明		基準値	R4	R5	R6
	ICTを活用した授業頻度(ほぼ毎日活用したと回答した児童生徒の割合)	計画	小学校:2.3%(R3) 中学校:1.2%(R3)	50%	60%	70%
		実績	—			
	授業中にICTを活用して指導する能力	計画	71.1%(R3)	85%	90%	95%
		実績	—			
	備考					

行田市行財政集中改革プラン2022 進捗管理シート

柱	I スマート自治体への転換による市民サービスの向上		改革主管課	総合政策部広報広聴課																																
改革	2 デジタル技術を活用した生活に役立つサービス																																			
取組項目	(5) 行政情報発信の推進																																			
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>●市民意識調査(R元年度実施)で、約9割の市民が市報から市政情報を得ていると回答</li> <li>●SNSによるタイムリーな情報発信を行っているが、SNSの代表的なツールである市公式LINEアカウントの登録者のうち60%が50歳未満であるが(R3.10.1時点)、この世代への更なる情報発信が課題</li> <li>●市ホームページのリニューアルに伴い、LINEと連携した「セグメント配信」・「チャットボット」が利用可能</li> </ul>																																			
目標達成に向けた取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市公式SNS(LINE、YouTube、フェイスブック、ツイッター)による情報発信</li> <li>・市公式SNSに関するユーザーレビューの実施</li> </ul>																																			
令和6年度末時点であるべき姿	SNS(ソーシャルネットワーキングサービス)により、必要な情報が必要な人に速やかに伝わっている。																																			
取組工程	令和4年度												令和5年度												令和6年度											
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
実施計画	●-----▶市公式SNS(LINE、YouTube、フェイスブック、ツイッター)での発信(随時)												●-----▶市公式SNS(LINE、YouTube、フェイスブック、ツイッター)での発信(随時)												●-----▶市公式SNS(LINE、YouTube、フェイスブック、ツイッター)での発信(随時)											
	LINEでのアンケート実施データ収集(1月) ● データ分析(2月) ● 分析結果を踏まえ、必要に応じて見直し(3月) ●												LINEでのアンケート実施データ収集(1月) ● データ分析(2月) ● 分析結果を踏まえ、必要に応じて見直し(3月) ●												LINEでのアンケート実施データ収集(1月) ● データ分析(2月) ● 分析結果を踏まえ、必要に応じて見直し(3月) ●											
進捗状況(実績・見込み)	●-----▶市公式SNS(LINE、YouTube、フェイスブック、ツイッター)での発信(随時)																																			
	LINEでのアンケート実施データ収集(1月) ● データ分析(2月) ● 分析結果を踏まえ、必要に応じて見直し(3月) ●																																			

3年間(R4-6年度)の具体的な取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さまざまなSNS媒体から市政情報の他、シティプロモーションをはじめとした市外に向けた情報発信を行い、市のイメージアップ及び住民の満足度向上を図っていく。</li> <li>・LINEで広報活動に関するアンケート調査を実施し、そのデータ収集・分析のもと、広報・シティプロモーション活動の見直しを図っていく。</li> </ul>					
R4上半期の取組実績(4月～9月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市公式SNSを通じて、くらし・手続きに関する市政情報を中心に、梅雨期及び台風時における大雨の際には災害情報や注意喚起等を発信した。この他、市外向けにイベントやテレビ放映のお知らせに関する情報を適切なタイミングで発信した。</li> </ul>					
R4下半期の取組予定(10月～3月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市の施策やサービスを市民に正確かつ迅速に伝えるため、引き続き、市公式SNSを通じて市政情報を中心としたタイムリーな情報発信を適切なタイミングで実施する。</li> <li>・LINE登録者全員を対象にLINEによるアンケートを実施し、データ分析の結果を基に令和5年度以降の広報・シティプロモーション活動の改善を図っていく。</li> </ul>					
活動指標	指標名／説明		基準値	R4	R5	R6
	市公式SNS発信回数	計画	—	220回以上	220回以上	220回以上
		実績	—			
	市公式SNSに関するユーザーレビュー	計画	—	実施	→	→
実績		—				
成果指標	指標名／説明		基準値	R4	R5	R6
	市公式SNSの登録人数	計画	29,462人	31,000人	32,500人	34,000人
		実績	—			
	市公式LINE登録者の50歳未満の割合	計画	60%	62%	64%	66%
実績		—				
備考						

行田市行財政集中改革プラン2022 進捗管理シート

柱	II 民間活力等の活用や協働の推進		改革主管課	総合政策部企画政策課																																
改革	3 民間活用による効率的な公共サービスの提供																																			
取組項目	(6) 指定管理者制度活用施設の見直し																																			
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>●23施設で指定管理者制度を導入しているが、更なる経費節減及びサービスの向上が求められている。</li> <li>●他の公の施設についても、さらなる活性化と経費節減に向け、民間活力を活用した施設の管理運営について検討する必要がある。</li> </ul>																																			
目標達成に向けた取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次期指定管理者選定方法(公募、非公募)の見直し</li> <li>・未導入施設への民間活力導入要否の検討</li> <li>・評価指標の見直しによる適切なモニタリング</li> </ul>																																			
令和6年度末時点であるべき姿	指定管理施設の選定方法・評価基準の見直しにより、更なる経費節減とサービス向上が図られている。																																			
取組工程	令和4年度												令和5年度												令和6年度											
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
実施計画	<p>次期指定期間(令和5年度から)における指定管理者の適切な管理・運営</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 条例改正(公募施設・6月)</li> <li>● 選定委員会設置/募集要綱の検討/審査/候補者の決定(5月~10月)</li> <li>● 次期指定管理者募集(7月~)※公募施設</li> <li>● 指定議案議決(12月)</li> <li>● 基本協定・年度協定締結引継ぎ(1月~)</li> </ul> <p>次期指定管理者による管理・運営(4月~)</p> <p>年度協定締結(3月)</p> <p>年度協定締結(3月)</p>																																			
	<p>指定管理者制度を新たに導入する施設についての検討及び選定に向けた取組み</p> <p>【新たに指定管理者制度を導入する場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 指定管理者制度検討委員会(5月~12月)※4回程度</li> <li>● 選定委員会設置準備</li> <li>● 条例改正案作成</li> <li>● 募集要綱作成(1月~3月)</li> <li>● 条例改正(公募施設・6月)</li> <li>● 選定委員会設置/募集要綱の検討/審査/候補者の決定(5月~10月)</li> <li>● 次期指定管理者募集(7月)※公募施設</li> <li>● 指定議案議決(12月)</li> <li>● 基本協定・年度協定締結引継ぎ(1月~)</li> </ul> <p>【新たに指定管理者制度を導入する場合】</p> <p>指定管理者による管理・運営(4月~)</p> <p>年度協定締結(3月)</p>																																			
	<p>サービス水準の維持に向けた取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 現行基準に基づく前年度の評価</li> <li>● 新基準に基づく前年度の評価(試行)(8月)</li> <li>● 施設所管課によるモニタリング(随時)</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 現行基準に基づく前年度の評価</li> <li>● 新基準に基づく前年度の評価(4月)</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 新基準に基づく前年度の評価(4月)</li> </ul>																																			

取組工程	令和4年度												令和5年度												令和6年度											
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
進捗状況 (実績・見込み)	<p>次期指定期間(令和5年度から)における指定管理者の適切な管理・運営</p> <p>● 条例改正(公募施設・6月)</p> <p>● 選定委員会設置/募集要綱の検討/審査/候補者の決定(5月~10月)</p> <p>● 次期指定管理者募集(7月~)※公募施設</p> <p>● 指定議案議決(12月)</p> <p>● 基本協定・年度協定締結引継ぎ(1月~)</p>																																			
	<p>指定管理者制度を新たに導入する施設についての検討及び選定に向けた取組み</p> <p>● 指定管理者制度検討委員会(5月、翌年2月、3月)</p> <p>【新たに指定管理者制度を導入する場合】</p> <p>● 選定委員会設置準備</p> <p>● 条例改正案作成</p> <p>● 募集要綱案作成(3月~)</p>																																			
	<p>サービス水準の維持に向けた取組み</p> <p>● 新評価基準策定(試行)</p> <p>● 評価実施(8月)</p> <p>● 前年度の評価公表(現行、新)(12月)</p> <p>● 施設所管課によるモニタリング(随時)</p> <p>● 現行基準に基づく前年度の評価</p> <p>● 新基準に基づく前年度の評価(4月)</p> <p>● 前年度の評価公表(現行、新)(6月)</p> <p>● 新基準に基づく前年度の評価(4月)</p> <p>● 前年度の評価公表(新)(6月)</p>																																			
<p>3年間(R4-6年度)の具体的な取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年度をもって指定期間が満了となることから、令和5年度からの次期指定管理者の選定に向けた準備(条例改正、募集要綱の作成、審査、候補者の決定、指定議案の議決、協定の締結、引継ぎ)を滞りなく進める。</li> <li>新たな指定管理者制度導入施設の可否については、制度検討委員会にて検討し、導入する場合には、令和6年度からの導入に向けて準備を進める。</li> <li>これに加え、指定管理者のサービス水準を維持するために定期的なモニタリングとともに、次期指定管理者(令和5年度)から新たな基準で本格的に評価を行う。</li> </ul>																																				
<p>R4上半期の取組実績(4月~9月)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和5年度からの次期指定管理者の選定に当たり、公募施設の設置及び管理条例を改正するとともに、各選定委員会において順次審査会を実施した。</li> <li>指定管理者制度を新たに導入する施設の検討に当たっては、5月に指定管理者制度検討委員会を開催し、その後、各施設所管課において制度導入の可否について調査研究を行った。</li> <li>これまでの評価項目を見直すとともに、評価方法についても指定管理者による1次評価、施設所管課による2次評価を実施するよう新たな評価基準を試行版として策定し、現行の評価表と合わせて評価を行った。</li> </ul>																																				
<p>R4下半期の取組予定(10月~3月)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和5年度からの次期指定管理者候補者を選定し、12月定例市議会において指定管理者の指定に係る議決を受けた後、各施設所管課と新たな指定管理者の両者間で基本協定及び年度協定を締結する。</li> <li>指定管理者制度を新たに導入する施設は、引き続き、指定管理者制度検討委員会において検討し、3月までに導入の可否についての方向性を決定する。</li> <li>各施設所管課において、適宜、指定管理者のモニタリングやヒアリングを行い、指定管理者制度導入施設における高いサービス水準を維持していくことを目指す。</li> </ul>																																				

活動指標	指標名／説明		基準値	R4	R5	R6
	活動指標	R5からの 指定管理者選定	計画	—	準備/選定	管理運営開始
実績			—			
新たな指定管理者 制度導入施設		計画	—	検討	(導入の場合) 指定に向けた 準備/選定	(導入の場合) 管理運営開始
		実績	—			
成果指標	指標名／説明		基準値	R4	R5	R6
	指定管理者評価点 (平均)	計画	65点(R2)	90点以上	90点以上	90点以上
		実績	—			
	管理運営費削減額	計画	—	0円	1,000万円	1,500万円
実績		—				
財政効果額(R4～R6の累計)		目標	2,500万円			
		実績				
備考						

行田市行財政集中改革プラン2022 進捗管理シート

柱	II 民間活力等の活用や協働の推進												改革主管課	都市整備部 上下水道経営課																						
改革	3 民間活用による効率的な公共サービスの提供																																			
取組項目	(7) 地方公営企業の効率的な業務運営																																			
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>●水道事業及び公共下水道事業における各種業務を個別委託しているため契約内容が複雑化している。</li> <li>●上下水道それぞれで窓口を設けているため、これらを統合し、業務の共通化を図り効率的な運営を目指していくことが必要</li> </ul>																																			
目標達成に向けた取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・包括的業務委託の導入の要否についての検討</li> <li>・委託内容の精査</li> </ul>																																			
令和6年度末時点であるべき姿	上・下水道事業における効率的な経営について検討が終了している。																																			
取組工程	令和4年度												令和5年度												令和6年度											
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
実施計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 導入可能性調査委託検討委員会設置(4月)</li> <li>● 第1回検討委員会(4月)</li> <li>● 契約締結(5月)</li> <li>● 導入可能性調査(6月～翌年3月)</li> </ul>												<ul style="list-style-type: none"> <li>【導入可能な場合】</li> <li>● アドバイザリー業務委託契約締結(5月～6月)</li> <li>● 包括業務委託仕様書作成(6月～翌年8月)</li> </ul>												<ul style="list-style-type: none"> <li>● 包括的業務委託入札(9月)</li> <li>● 包括的業務委託業者決定(11月)</li> </ul> <p>※包括的業務委託実施(R7.4.1～)</p>											
	包括的業務委託導入可能性調査												包括的業務委託実施に向けた準備																							
進捗状況(実績・見込み)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 導入可能性調査委託検討委員会設置(4月)</li> <li>● 第1回検討委員会(4月)</li> <li>● 契約締結(5月)</li> <li>● 導入可能性調査(6月～翌年3月)</li> </ul>																																			
	包括的業務委託導入可能性調査												包括的業務委託実施に向けた準備																							



3年間(R4-6年度)の具体的な取組内容		・令和4年度に国の「民間資金等活用事業調査費補助事業」を活用し、上・下水道事業における包括的業務委託導入可能性調査を行い、その結果を踏まえ、令和5年度・6年度は令和7年度に実施予定の包括的業務委託に向けて事業者選定に係る資料作成等の準備を進める。				
R4上半期の取組実績(4月～9月)	・5月に上・下水道事業包括的業務委託導入可能性調査業務委託契約を締結し、当該契約に係る調査の内容確認等を実施した。					
R4下半期の取組予定(10月～3月)	・1月までに、上・下水道事業の関係事業者に対して、アンケートを実施する。 ・3月までに包括的業務委託導入可能性調査を完了する。					
活動指標	指標名／説明		基準値	R4	R5	R6
	包括的業務委託導入への検討	計画	—	検証	事業化、事業者選定に向けた準備	→
		実績	—			
成果指標	指標名／説明		基準値	R4	R5	R6
	包括的業務委託の導入	計画	—	—	—	包括的業務委託事業者選定
		実績	—	—	—	
備考						

行田市行財政集中改革プラン2022 進捗管理シート

柱	II 民間活力等の活用や協働の推進												改革主管課	総合政策部企画政策課																						
改革	4 民間や他自治体との協力・連携による行政手法の多様化																																			
取組項目	(8) 市民・NPO・民間企業・大学との連携による各種事業の展開																																			
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>●民間事業者等と各部署において、様々な公民連携事業を実施しているが、公民連携による事業内容や実施状況などの情報が集約されていない。</li> <li>●官民連携事業の実施に当たり、多数が民間事業者等からの提案によるものであり、市から積極的なアプローチが行われていないため、戦略的に事業を展開する「仕組みづくり」が必要</li> </ul>																																			
目標達成に向けた取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民間事業者と各所属を「つなぐ」仕組みづくり</li> <li>・行政課題の解決に資する提案募集</li> <li>・新規連携先の開拓</li> </ul>																																			
令和6年度末時点であるべき姿	市が民間事業者等と協働して行政課題の解決に取り組んでいる。																																			
取組工程	令和4年度												令和5年度												令和6年度											
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
実施計画	一元的な窓口の構築 ● 公民連携総合窓口の設置(4月) ● 募集要綱等の整備(4月～6月)																																			
	民間事業者等からの提案募集及び連携 ● 連携先の開拓(通年) ● 民間事業者等から提案募集(通年) ● 提案事業実施(随時)																																			
	政策立案に必要なニーズ把握 ● 政策立案に必要なアンケート実施周知(9月) ● アンケートによるデータ収集・分析(随時)																																			
進捗状況 (実績・見込み)	一元的な窓口の構築 ● 公民連携総合窓口の設置(4月) ● 実施要綱等の整備(4月～6月)																																			
	民間事業者等からの提案募集及び連携 ● チラシ作成及びDMの送付(4月～9月) ● 新規で4事業者と連携(うち協定締結2者)及び提案事業の実施(4月～9月) ● 新規連携先の開拓及び提案募集の周知(10月～翌年3月) ● 新たな事業者と連携及び提案事業の実施(10月～翌年3月)																																			
	政策立案に必要なニーズ把握 ● アンケートによるデータ収集・分析(随時)																																			

<p>3年間(R4-6年度)の具体的な取組内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民間事業者等からの相談、提案を一元的に管理する窓口を設置する。</li> <li>・民間事業者等から実証実験や行政課題解決に向けた提案を受け付け、各所属と調整の上、事業を実施する。</li> <li>・各所属の連携協定を集約し、既に締結している連携協定を活用した新規事業を実施する。</li> <li>・直接訪問、周知用チラシ・ダイレクトメールの送付等、様々な手段により提案を募り、新規連携先との事業実施を実施する。</li> <li>・企画政策課から全所属あてに各種施策に関するアンケートの実施を勧奨し、各所属においてデータ収集、分析の上、市民ニーズにマッチした連携事業を推進する。</li> </ul>					
<p>R4上半期の取組実績(4月～9月)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月に民間事業者等との連携のワンストップ窓口である「公民連携総合窓口 Co-Labo Gyoda (コラボぎょうだ)」を設置し、民間事業者等からの事業提案を受付するために必要となる実施要綱等を整備した。</li> <li>・職員向けに「公民連携事業に関する研修」を開催した(第1回は4月、第2回は6月)。</li> <li>・4月に公民連携の先進地である横瀬町を視察した。</li> <li>・公民連携先となる民間事業者等の新規開拓のため、提案募集の周知用チラシを作成し、ダイレクトメールを302社に対して送付した。</li> <li>・民間事業者との公民連携を促進し、新規に4事業者(㈱官民連携事業研究所、㈱クラッソーネ、㈱エムエスディ、ピジョン㈱)との連携事業を順次開始した。また、10月以降に予定している新たな連携先との調整を行った。</li> </ul>					
<p>R4下半期の取組予定(10月～3月)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上半期から調整していた新規事業者と連携するほか、他の事業者との新たな連携に向けて市ホームページやダイレクトメールなどの情報発信ツールを活用して民間企業等から提案を募る。</li> <li>・既に連携している事業者等との事業を継続する。</li> <li>・各所属に対して各種施策に関するアンケートの実施を勧奨し、データ収集・分析を行った結果に基づき、市民ニーズにマッチした連携事業を推進する。</li> </ul>					
<p>活動指標</p>	<p>指標名/説明</p>		<p>基準値</p>	<p>R4</p>	<p>R5</p>	<p>R6</p>
	<p>一元的な窓口の構築</p>	<p>計画</p>	<p>-</p>	<p>実施</p>	<p>-</p>	<p>-</p>
		<p>実績</p>	<p>-</p>			
	<p>民間事業者等からの提案募集/連携</p>	<p>計画</p>	<p>-</p>	<p>実施</p>	<p>→</p>	<p>→</p>
		<p>実績</p>	<p>-</p>			
	<p>各種施策に関するアンケート</p>	<p>計画</p>	<p>-</p>	<p>実施</p>	<p>→</p>	<p>→</p>
<p>実績</p>		<p>-</p>				
<p>成果指標</p>	<p>指標名/説明</p>		<p>基準値</p>	<p>R4</p>	<p>R5</p>	<p>R6</p>
	<p>民間企業等のプロジェクト(実証実験を含む)の実施</p>	<p>計画</p>	<p>-</p>	<p>5事業以上</p>	<p>5事業以上</p>	<p>5事業以上</p>
		<p>実績</p>	<p>-</p>			
	<p>連携による施策の展開</p>	<p>計画</p>	<p>-</p>	<p>1事業以上</p>	<p>2事業以上</p>	<p>2事業以上</p>
<p>実績</p>		<p>-</p>				
<p>備考</p>						

行田市行財政集中改革プラン2022 進捗管理シート

柱	II 民間活力等の活用や協働の推進		改革主管課	全所属																															
改革	4 民間や他自治体との協力・連携による行政手法の多様化																																		
取組項目	(9) 民間人材を活用した各種施策の展開																																		
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>●R3年度より国の地方創生人材支援制度を活用し、民間企業からデジタル専門人材を受け入れ、庁内のデジタル化を推進</li> <li>●今後も、特にDXや地域防災などの分野において、専門的知見をもつ民間人材の活用が必要</li> </ul>																																		
目標達成に向けた取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民間人材を登用する分野の検討</li> <li>・民間人材活用に向けた検討</li> </ul>																																		
令和6年度末時点であるべき姿	民間企業等の外部人材を登用し、知見を活かした各種施策が展開されている。																																		
取組工程	令和4年度			令和5年度			令和6年度																												
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
実施計画	●行政課題抽出 (4月～6月) ●民間人材登用の検討/受入準備 (7月～翌年3月) ●民間人材登用による施策展開 (通年) ●検証 (1月～3月)			●行政課題抽出 (4月～6月) ●民間人材登用の検討/受入準備 (7月～翌年3月) ●民間人材登用による施策展開 (通年) ●検証 (1月～3月)			●行政課題抽出 (4月～6月) ●民間人材登用の検討/受入準備 (7月～翌年3月) ●民間人材登用による施策展開 (通年) ●検証 (1月～3月)																												
進捗状況 (実績・見込み)	●行政課題抽出 (9月～10月) ●民間人材登用の検討/受入準備 (11月～翌年3月) ●官民連携事業による複業人材活用に関する実証実験開始(10月) ●民間人材登用による施策展開 (通年) ●検証 (1月～3月)																																		
3年間(R4-6年度)の具体的な取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部人材登用により、各所属の事業の発展や改善の可能性を研究し、登用に向けて人事課と調整を図る。</li> <li>・外部人材登用により、民間等で培われた経験やスキルを組織の中に取り入れ、行政需要への迅速な対応及び組織の活性化を図る。</li> </ul>																																		
R4上半期の取組実績 (4月～9月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度に引き続き、4月から国の「地方創生人材支援制度」を活用してデジタル専門人材を受け入れ、ICT推進アドバイザーを登用した。</li> <li>・市役所のDX化に向けた職員研修を実施した他、専門的知見に基づいた技術的な助言を行いながら市職員と共にDX推進計画の策定に向けて取り組んでいる。</li> </ul>																																		
R4下半期の取組予定 (10月～3月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、ICT推進アドバイザーと共にDX計画の策定や導入したデジタル技術の効果的な活用に向けて取組み、市役所のDX化を加速させていく。</li> <li>・民間人材の知見を活かした各種施策を展開するため、「デジタル専門人材」の他に新たに登用する分野を検討し、令和5年度以降の「地方創生人材支援制度」の活用による民間人材登用に向けて準備を行う。</li> <li>・株式会社Another worksとの連携のもと、同社の「複業クラウドfor Public」を活用し、実証実験として専門的なスキルを有する民間複業人材を市のアドバイザーとして受け入れ、市の行政課題の解決を図る。</li> </ul>																																		

活動指標	指標名／説明		基準値	R4	R5	R6
	民間人材登用	計画		—	検討/準備/登用	
実績			—			
成果指標	指標名／説明		基準値	R4	R5	R6
	民間人材登用による 行政課題解決に向けた施策	計画		—	実施	
実績			—			
備考						

行田市行財政集中改革プラン2022 進捗管理シート

柱	II 民間活力等の活用や協働の推進		改革主管課	環境経済部環境課																																												
改革	4 民間や他自治体との協力・連携による行政手法の多様化																																															
取組項目	(10) 他自治体との広域連携の推進																																															
現状と課題	●可燃ごみ処理施設「小針クリーンセンター」、不燃・粗大ごみ処理施設「粗大ごみ処理場」は、稼働開始以来40年弱が経過し、老朽化が顕著であることから、施設の更新が急務となっている。																																															
目標達成に向けた取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな事業主体(一部事務組合)を設置(R4)</li> <li>・具体的な施設整備の方針及び効率的な事業運営方式の検討に着手</li> </ul>																																															
令和6年度末時点であるべき姿	新ごみ処理施設整備工事に着手している。																																															
取組工程	令和4年度												令和5年度												令和6年度																							
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3												
実施計画	<p>● 行田羽生資源環境組合 設立(4月)</p> <p>● 施設整備基本計画等公募型プロポーザル実施(6月)</p> <p>● 施設整備基本計画の策定、PFI導入可能性調査(7月～翌年3月)</p> <p>● 事業者選定アドバイザー業務着手(5月)</p> <p>● 審査委員会設置(7月)</p> <p>● 事業者選定業務(8月～翌年8月)</p> <p>● 事業者決定(9月)</p> <p>● 工事着手(10月)</p>																																															
進捗状況(実績・見込み)	<p>● 行田羽生資源環境組合 設立(4月)</p> <p>● 施設整備基本計画等公募型プロポーザル実施(6月)</p> <p>● 施設整備基本計画の策定、PFI導入可能性調査(7月～翌年3月)</p>																																															
3年間(R4-6年度)の具体的な取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新ごみ処理施設の規模、処理方式、配置計画等の基本方針を定める施設整備基本計画を策定するとともに、民間事業者への意向調査等により事業の経済性を評価し、事業方式を検討するPFI導入可能性調査を実施する。</li> <li>・審査委員会を設置し、要求水準の検討を行い、工事事業者を選定する。</li> </ul>																																															
R4上半期の取組実績(4月～9月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月1日に行田羽生資源環境組合を設立した。</li> <li>・6月に施設整備基本計画等公募型プロポーザルを実施した。</li> <li>・7月に業務委託契約を締結し、施設整備基本計画の策定とPFI導入可能性調査に着手した。</li> </ul>																																															
R4下半期の取組予定(10月～3月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3月までに施設整備基本計画策定業務及びPFI導入可能性調査を完了する。</li> </ul>																																															

活動指標	指標名／説明		基準値	R4	R5	R6
	新ごみ処理施設整備に向けた業務実施	計画		—	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設整備基本計画策定</li> <li>PFI導入可能性調査</li> </ul>	事業者選定アドバイザー業務(要求水準書作成等)
実績			—			
成果指標	指標名／説明		基準値	R4	R5	R6
	新ごみ処理施設整備工事着手	計画		—	整備手法検討着手	整備手法検討
実績			—			
備考	本進捗管理シートは、行田羽生資源環境組合からの情報を基に作成					

行田市行財政集中改革プラン2022 進捗管理シート

柱	Ⅲ 市役所風土変革による効率的・効果的な行政運営		改革主管課	総合政策部企画政策課 総合政策部情報政策課																				
改革	5 時代や状況の変化へ弾力的に対応する組織と人財づくり																							
取組項目	(11) スマート自治体への転換を図るための組織体制の構築																							
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 情報政策全般を主導する部署や、主導する役割を担う役職が配置されていない。</li> <li>● 全庁的な推進体制が構築されておらず、各部署が個々に関係施策の検討や導入を行っている状況である。</li> </ul>																							
目標達成に向けた取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 組織改正による情報政策を担う部署の設置</li> <li>・ DX推進計画の策定</li> <li>・ 実効性の高い推進体制(CIO、推進本部、推進員の設置など)の構築</li> </ul>																							
令和6年度末時点であるべき姿	スマート自治体推進のための体制が整い、自治体DXの取組みが進んでいる。																							
取組工程	令和4年度			令和5年度			令和6年度																	
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
実施計画	<p>● 情報政策課設置(4月)</p> <p>● CIO/推進本部/推進員設置(7月)</p> <p>● 推進本部(7月)</p> <p>● 推進本部(9月)</p> <p>● 推進本部(11月)</p> <p>● 推進本部(2月)</p> <p>● DX計画策定(3月)</p> <p>● DX研修(7月)</p> <p>● DX研修(7月)</p> <p>● DX研修(7月)</p> <p>● セキュリティ研修(10月)</p> <p>● セキュリティ研修(10月)</p> <p>● セキュリティ研修(10月)</p> <p>→ デジタル人材確保(通年)</p> <p>→ デジタル人材確保(通年)</p> <p>→ デジタル人材確保(通年)</p>																							
	DX推進体制の構築及び強化																							
進捗状況(実績・見込み)	<p>● 情報政策課設置(4月)</p> <p>● CIO/推進本部/推進員設置(7月)</p> <p>● 推進本部(7月)</p> <p>● 推進本部(9月)</p> <p>● 推進本部(11月)</p> <p>● 推進本部(2月)</p> <p>● DX計画策定(3月)</p> <p>● DX研修(7月)</p> <p>● セキュリティ研修(10月)</p> <p>→ デジタル人材確保(通年)</p>																							
	DX推進体制の構築及び強化																							



3年間(R4-6年度)の具体的な取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>DXの推進に向け、CIO、推進本部及びDX推進員を設置する。併せて、所属長及びDX推進員に対して、理解を深めるための研修を随時実施する。</li> <li>DX推進計画策定に当たり、関係部署へのアンケート調査・ヒアリングを行うとともに、ICT推進アドバイザーからの助言や推進本部での意見を反映させる。</li> <li>策定したDX推進計画に基づいた各種施策の進捗管理を行う。</li> </ul>					
R4上半期の取組実績(4月～9月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>7月にDX推進本部を設置し、CIO及び推進員を任命した。</li> <li>7月及び9月に推進本部会議を計2回開催した。</li> <li>7月に職員向け「DX研修会」を2日間にわたって開催した。</li> </ul>					
R4下半期の取組予定(10月～3月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>10月に情報セキュリティ研修会を開催する。</li> <li>11月及び2月に推進本部会議を計2回開催する。</li> <li>国の「地方創生人材支援制度」を活用し、令和5年度以降のデジタル人材確保に向けて協力企業との調整を図る。</li> </ul>					
活動指標	指標名／説明		基準値	R4	R5	R6
	DX推進体制強化	計画	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画策定</li> <li>推進本部開催</li> </ul>		▶
		実績	—			
	デジタル人材の確保／育成	計画	—	外部人材活用	専門人材の養成	▶
実績		—				
成果指標	指標名／説明		基準値	R4	R5	R6
	DXの取組数(累計)	計画	2(R3)	6	8	10+ $\alpha$
		実績				
備考						

行田市行財政集中改革プラン2022 進捗管理シート

柱	Ⅲ 市役所風土変革による効率的・効果的な行政運営		改革主管課	総合政策部企画政策課 全所属																																	
改革	5 時代や状況の変化へ弾力的に対応する組織と人財づくり																																				
取組項目	(12) さまざまな行政課題に対応できる職員の育成																																				
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>●R3年度より職員の政策立案能力向上を目的として、職員提案制度にプレゼンテーション方式による提案を新設</li> <li>●限られた財源で効果的な施策を実施していくため、職員にはエビデンスに基づいた事業設計能力の向上が求められている。</li> </ul>																																				
目標達成に向けた取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>●職員提案制度の推進</li> <li>●データ分析/集積のためのアンケート実施</li> </ul>																																				
令和6年度末時点であるべき姿	職員のエビデンスに基づいた政策立案(EBPM)能力が向上し、意欲的に業務に取り組んでいる。																																				
取組工程	令和4年度												令和5年度												令和6年度												
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
実施計画	職員提案制度の推進及び提案内容の事業化に向けた取組み ● テーマ設定(4月) 次年度テーマ募集(2月) ● プレゼンによる職員提案実施(5月、7月、8月、10月、11月、翌年1月、2月) ● 提案に対する取組状況の確認(9月) 提案に対する取組状況の確認(3月)													職員提案制度の推進及び提案内容の事業化に向けた取組み ● テーマ設定(4月) 次年度テーマ募集(2月) ● プレゼンによる職員提案実施(5月、7月、8月、10月、11月、翌年1月、2月) ● 提案に対する取組状況の確認(9月) 提案に対する取組状況の確認(3月)												職員提案制度の推進及び提案内容の事業化に向けた取組み ● テーマ設定(4月) 次年度テーマ募集(2月) ● プレゼンによる職員提案実施(5月、7月、8月、10月、11月、翌年1月、2月) ● 提案に対する取組状況の確認(9月) 提案に対する取組状況の確認(3月)											
	アンケート実施による政策立案に必要な各種データの収集・分析 ● 政策立案に必要なアンケート実施周知(9月) ● 各所属で政策立案のためのアンケート実施、データ収集・分析(随時)													EBPM研修(1月) ● 各所属で政策立案のためのアンケート実施、データ収集・分析(随時)												● 各所属で政策立案のためのアンケート実施、データ収集・分析(随時)											
進捗状況(実績・見込み)	職員提案制度の推進及び提案内容の事業化に向けた取組み ● テーマ設定(4月) 次年度テーマ募集(2月) ● プレゼンによる職員提案実施(5月、7月、8月、10月、11月、翌年1月、2月) ● 提案に対する取組状況の確認(9月～11月) 提案に対する取組状況の確認(3月)																																				
	アンケート実施による政策立案に必要な各種データの収集・分析 ● 政策立案に必要なアンケート実施周知(2月) ● 各所属で政策立案のためのアンケート実施、データ収集・分析(随時)													EBPM研修(3月)																							

<p>3年間(R4-6年度)の具体的な取組内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員提案制度を推進し、市民サービス向上や事務事業改善に繋がる新規事業の提案や既存事業の見直しに必要な政策立案能力の向上を図る。</li> <li>・職員からの提案に基づき、関係部署において実現性を検証し、適宜事業化する。</li> <li>・政策立案に必要なアンケート実施を周知し、各所属でのデータ収集・分析に基づいた新規事業化・既存事業の改善を図る。</li> </ul>					
<p>R4上半期の取組実績 (4月～9月)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プレゼンテーションによる職員提案を年間7回開催することのほか、各回のテーマ等を決定した。</li> <li>・5月、7月及び8月にプレゼンテーションによる職員提案を計3回実施し、若手職員を中心として積極的な提案がなされ、各回終了後に提案内容の所管課に対して提案内容の実施に向けて検討要請した。</li> <li>・政策展開前に市民向けアンケートによる意向調査を実施し、潜在ニーズの把握に努めた。</li> </ul>					
<p>R4下半期の取組予定 (10月～3月)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・9月末時点及び3月末時点における提案に対する各所管課の取組状況を適宜確認する。</li> <li>・引き続き、プレゼンテーションによる職員提案を実施するほか、令和5年度テーマを庁内から募集する。</li> <li>・新規事業の実施又は既存事業の改善を図るため、データ分析／集積に必要なアンケート調査の依頼を庁内周知するとともに、職員向け研修会を通じて全庁的な政策立案能力の向上を図っていく。</li> </ul>					
<p>活動指標</p>	<p>指標名／説明</p>		<p>基準値</p>	<p>R4</p>	<p>R5</p>	<p>R6</p>
	<p>職員提案人数 (各年度)</p>	<p>計画</p>	<p>33人(R3)</p>	<p>40人以上</p>	<p>40人以上</p>	<p>40人以上</p>
	<p>アンケート実施による政策立案に必要な各種データの収集・分析</p>	<p>計画</p>	<p>—</p>	<p>実施</p>	<p>—————→</p>	<p>—————→</p>
		<p>実績</p>	<p>—</p>			
<p>成果指標</p>	<p>指標名／説明</p>		<p>基準値</p>	<p>R4</p>	<p>R5</p>	<p>R6</p>
	<p>事業化された提案数 (各年度)</p>	<p>計画</p>	<p>1(R2)</p>	<p>1</p>	<p>2</p>	<p>3</p>
	<p>新規事業数+見直し事業数(各年度)</p>	<p>計画</p>	<p>14(R3)</p>	<p>20以上</p>	<p>20以上</p>	<p>20以上</p>
		<p>実績</p>	<p>—</p>			
<p>備考</p>						

### 行田市行財政集中改革プラン2022 進捗管理シート

柱	Ⅲ 市役所風土変革による効率的・効果的な行政運営		改革主管課	総合政策部情報政策課					
改革	6 BPR(ビジネスプロセス・リエンジニアリング)の徹底								
取組項目	(13) 先端デジタル技術を活用した事務の効率化								
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>●単純なパソコン入力作業など、定型的な事務処理に多くの人手と時間を要しており、政策立案に充てられる時間が少ない。</li> <li>●デジタル技術の活用により、こうした定型業務に掛かる時間を縮減し、職員が政策立案や相談業務などに注力できる環境を整える必要がある</li> </ul>								
目標達成に向けた取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・AI-OCRやRPAなどの新技術の導入</li> <li>・業務プロセスの最適化</li> </ul>								
令和6年度末時点であるべき姿	AI等の新技術導入により定型業務に掛かる時間が大幅に縮減され、創造的な業務に注力している。								
取組工程	令和4年度			令和5年度			令和6年度		
実施計画	4	5	6	4	5	6	4	5	6
AI-OCR導入/ 円滑な運用	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 個別操作研修(5月)</li> <li>● 運用(6月～翌年3月)</li> <li>● マニュアル作成 庁内意見聴取(7月)</li> <li>● マニュアル 周知(9月)</li> <li>● 次年度導入業務決定 (7月～9月)</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>● 個別操作研修(5月)</li> <li>● 効果検証(4月～5月)</li> <li>● 運用(通年)</li> <li>● 次年度導入業務決定 (7月～9月)</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>● 個別操作研修(5月)</li> <li>● 効果検証(4月～5月)</li> <li>● 運用(通年)</li> <li>● 次年度導入業務決定 (7月～9月)</li> </ul>		
RPA導入/ 円滑な運用	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 操作 研修会(10月)</li> <li>● 運用(10月～翌年3月)</li> <li>● 次年度導入業務決定 (7月～9月)</li> <li>● 次年度導入業務に関するプロセス の見直し(10月～翌年3月)</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>● 効果検証(4月～5月)</li> <li>● 運用(通年)</li> <li>● 次年度導入業務決定 (7月～9月)</li> <li>● 次年度導入業務に関するプロセス の見直し(10月～翌年3月)</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>● 効果検証(4月～5月)</li> <li>● 運用(通年)</li> <li>● 次年度導入業務決定 (7月～9月)</li> <li>● 次年度導入業務に関するプロセス の見直し(10月～翌年3月)</li> </ul>		

取組工程	令和4年度												令和5年度												令和6年度											
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
進捗状況 (実績・見込み)	<p>AI-OCR導入/円滑な運用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 個別操作研修(5月)</li> <li>● 運用(6月～翌年3月)</li> <li>● マニュアル作成(7月)</li> <li>● マニュアル意見聴取(9月～10月)</li> <li>● AI-OCR操作マニュアルを随時配布(10月～)</li> <li>● 次年度導入業務決定(11月～12月)</li> </ul>																																			
	<p>RPA導入/円滑な運用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 操作研修会(11月)</li> <li>● 運用(11月～翌年3月)</li> <li>● 庁内意見聴取(9月～10月)</li> <li>● 次年度導入業務決定(11月～12月)</li> <li>● 次年度導入業務に関するプロセスの見直し(1月～3月)</li> </ul>																																			
3年間(R4-6年度)の具体的な取組内容												<ul style="list-style-type: none"> <li>・次年度の導入業務の選定を行い、選定先の所管課に対して周知を行う。</li> <li>・RPA導入業務に関する業務フローの見直しを行い、シナリオ作成の準備を行う。</li> <li>・システム導入による作業時間の削減効果等の検証を行う。</li> </ul>																								
R4上半期の取組実績(4月～9月)												<p>【AI-OCR】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5月に導入する所管課に対して、個別操作説明を行った。</li> <li>・県内市町村による共同利用に参加し、6月から運用開始した。その後、「AI-OCR操作マニュアル」の作成に向け、8月に関係各課による実装を経て、9月から関係各課に対して意見聴取を行った。</li> <li>・9月～10月にDX推進計画の策定に係るヒアリングを通して、導入後の円滑な運用に向けた庁内意見聴取を実施した。</li> </ul> <p>【RPA】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・9月からDX推進計画の策定に係るヒアリングを通して、導入前における庁内意見聴取を行った。</li> </ul>																								
R4下半期の取組予定(10月～3月)												<p>【AI-OCR】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・10月まで関係各課から意見聴取を行い、同月から関係各課に「AI-OCR操作マニュアル」を随時配布する。</li> <li>・11月から12月にかけて令和5年度に新たに導入する業務を決定する。</li> </ul> <p>【RPA】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・11月からの運用開始に向けた「操作研修会」を開催し、同月から特別徴収に係る給与所得者異動届出書の入力業務において運用を開始する。</li> <li>・令和5年度に新たに導入する業務を決定し、導入に向けた業務プロセスの見直しを案内する。</li> </ul>																								
活動指標	指標名/説明		基準値	R4	R5	R6																														
	AI-OCR、RPA活用業務数(各年度)		計画	—	17業務	21業務	42業務																													
		実績		—																																
成果指標	指標名/説明		基準値	R4	R5	R6																														
	新技術導入による時間外勤務削減時間(各年度)		計画	—	800時間以上	980時間以上	1800時間以上																													
			実績		—																															
	新規事業数+見直し事業数(再掲)		計画	14(R3)	20以上	20以上	20以上																													
		実績		—																																
備考																																				

行田市行財政集中改革プラン2022 進捗管理シート

柱	Ⅲ 市役所風土変革による効率的・効果的な行政運営		改革主管課	総務部総務課 総合政策部企画政策課 総合政策部情報政策課																			
改革	6 BPR(ビジネスプロセス・リエンジニアリング)の徹底																						
取組項目	(14) ペーパーレスへの取組強化																						
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>●文書管理システムを運用しているにも関わらず、紙による資料添付も行われている。</li> <li>●市役所庁舎内における印刷経費(紙、トナー代等)は、年間約780万円かかっている。</li> <li>●文書の保存・保管スペースが飽和状態となっている。</li> </ul>																						
目標達成に向けた取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文書管理システム運用適正化マニュアルの作成</li> <li>・起案文書の電子決裁の徹底</li> <li>・ペーパーレス会議システムの導入</li> </ul>																						
令和6年度末時点であるべき姿	ペーパーレスによる業務遂行が定着している。																						
取組工程	令和4年度			令和5年度			令和6年度																
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
実施計画	印刷用紙使用量削減のルール徹底	● 文書の電子的管理の徹底(通年) ● 文書の電子的管理の厳格化を周知徹底(4月、10月) ● 文書管理システム電子保存率状況報告(3月)			● 文書管理システム電子的管理の運用に係る検証(8月) ● 文書管理システム電子的管理の運用の実地確認及び指導(10月) ● 文書管理システム電子保存率状況報告(3月)			● 文書管理システム電子的管理の運用に係る検証(8月) ● 文書管理システム電子的管理の運用の実地確認及び指導(10月)			▶												
	ペーパーレス会議システム導入	● ぺーパーレス会議システムトライアル(7月～9月) ● トライアル結果検証(10月)			● システム導入、本格運用(7月～翌年3月) ● 効果検証(1月)			● システム運用(通年) ● 効果検証(1月)			▶												
	プリンター削減及びスキャナ導入	● 庁舎2階フロアのプリンターを段階的に削減(8月～翌年6月)			● 全庁周知(4月) ● 全庁でプリンター削減 ● 庁舎1階フロアにスキャナ導入(7月～翌年3月) ● 効果検証(1月)			● 本格運用(4月～) ● 効果検証(1月)			▶												

取組工程	令和4年度												令和5年度												令和6年度																						
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3											
進捗状況 (実績・見込み)	印刷用紙使用量削減のルール徹底	● 文書の電子的管理の徹底(通年) →																																													
	ペーパーレス会議システム導入	● 文書管理システム電子保存率状況確認(9月)																																													
		● 文書の電子保存率現状報告と文書添付方法の再周知(11月)																																													
プリンター削減及びスキナー導入	● 文書管理システム電子保存率状況報告(3月)																																														
	● ペーパーレス会議システムトライアル(7月～12月)																																														
												● トライアル結果検証(1月)																																			
												● 庁舎2階フロアのプリンターを段階的に削減(8月～翌年6月)																																			
3年間(R4-6年度)の具体的な取組内容												<ul style="list-style-type: none"> <li>文書管理システム運用の適正化を促すとともに、各所属における電子保存率を調査する。また、全所属に電子的管理の効果等の報告を求め、文書の取扱いについて実地確認を行い、文書管理システムの運用方法等の見直しを図る。</li> <li>令和5年度から全庁にペーパーレス会議システムを導入し、庁内会議、打合せ、外部会議等でペーパーレス化を推進する。</li> <li>庁内のプリンター台数を削減し、ペーパーレス化への意識醸成を図る。</li> </ul>																																			
R4上半期の取組実績(4月～9月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>7月からペーパーレス会議システムのトライアルを実施した。</li> <li>8月に本庁舎2階に設置していたプリンター3台を1台に集約した。</li> <li>9月に文書管理システムの電子保存率の現状確認を行った。</li> </ul>																																														
R4下半期の取組予定(10月～3月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>12月までペーパーレス会議システムのトライアルを実施し、令和5年度のペーパーレス会議システム導入に向けてトライアル結果を検証する。</li> <li>庁舎2階に設置しているプリンターを削減する所属を選定し、集約化を図る。</li> <li>11月に文書添付方法(システム操作含む。)の再周知を図り、3月に電子保存率の状況調査を実施する。</li> </ul>																																														
活動指標	指標名/説明		基準値		R4				R5				R6																																		
	文書管理システム電子保存率	計画	53%(R2)		60%				70%				75%																																		
		実績	-																																												
	ペーパーレス会議実施率	計画	0%(R3)		5%				25%				50%																																		
実績		-																																													
成果指標	指標名/説明		基準値		R4				R5				R6																																		
	コピー用紙購入枚数削減率	計画	-		5%				8%				15%																																		
		実績	-																																												
	財政効果額(R4～R6の累計)		目標	200万円																																											
		実績																																													
備考																																															

### 行田市行財政集中改革プラン2022 進捗管理シート

柱	Ⅲ 市役所風土変革による効率的・効果的な行政運営												改革主管課	総合政策部情報政策課 総務部人事課																						
改革	6 BPR(ビジネスプロセス・リエンジニアリング)の徹底																																			
取組項目	(15) テレワークの推進																																			
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>●オンラインによる研修は自宅にて受講している例もあるが、通常業務は、基本的にそれぞれの執務室で業務を行っている。</li> <li>●職員の多様な働き方を実現するため、R4年1月よりテレワークを試行運用し、R4年度から本格実施</li> </ul>																																			
目標達成に向けた取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレワーク運用指針の策定</li> <li>・セキュリティに配慮したシステムやネットワークなどの環境整備</li> </ul>																																			
令和6年度末時点であるべき姿	オフィスワークに捉われない柔軟で多様な働き方が実現できている。																																			
取組工程	令和4年度						令和5年度						令和6年度																							
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
実施計画	<div style="display: flex; flex-direction: column;"> <div style="margin-bottom: 10px;"> <p>テレワーク制度の周知、推進</p> <p>● → 実施状況等 検証(4月～6月)</p> <p>● → 検証結果に基づき運用指針策定(7月～9月)</p> <p>● → 運用指針周知(10月～12月)</p> <p>● 研修(11月)</p> <p>● → 実施状況等の検証(1月～3月)</p> </div> <div style="margin-bottom: 10px;"> <p>ビジネスチャット導入</p> <p>● → 検討(7月～12月)</p> <p>● → トライアル(1月～3月)</p> </div> </div>																																			
進捗状況(実績・見込み)	<div style="display: flex; flex-direction: column;"> <div style="margin-bottom: 10px;"> <p>テレワーク制度の周知、推進</p> <p>● → 実施状況等 検証(4月～翌年3月)</p> <p>● → 実施要領の見直し(1月～2月)</p> <p>● 研修(3月)</p> </div> <div> <p>ビジネスチャット導入</p> <p>● → 検討(7月～11月)</p> <p>● → トライアル(12月～翌年3月)</p> </div> </div>																																			



3年間(R4-6年度)の具体的な取組内容	・新たな働き方であるテレワーク制度の周知、推進を図るとともに職員の意見等を精査し、実施環境の改善を図る。					
R4上半期の取組実績(4月～9月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運用指針は、令和3年度試行運用時に実施要領に代えて策定済みである。</li> <li>・テレワーク実施要領に基づき、4月から本格的にテレワークを推進した。</li> <li>・7月からビジネスチャット導入に向けて、情報収集を実施した。</li> </ul>					
R4下半期の取組予定(10月～3月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者に対してテレワークの利用状況に関する調査を実施し、その結果を検証した上で実施要領の見直しを検討する。</li> <li>・3月にテレワークに係る操作研修会を職員向けに開催する。</li> <li>・ビジネスチャットに関する情報収集の結果を受け、トライアルを実施する。</li> </ul>					
活動指標	指標名／説明		基準値	R4	R5	R6
	テレワークの推進	計画	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施</li> <li>・指針の策定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指針周知徹底</li> </ul>	 
		実績	—			
	ビジネスチャット導入	計画	—	試験導入	本格導入	
		実績	—			
成果指標	指標名／説明		基準値	R4	R5	R6
	テレワーク可能な所属におけるテレワークを実施した職員の割合	計画	0%	3年間で100%		
実績		—				
備考						

### 行田市行財政集中改革プラン2022 進捗管理シート

柱	Ⅲ 市役所風土変革による効率的・効果的な行政運営	改革主管課	総合政策部企画政策課 総合政策部財政課																																	
改革	6 BPR(ビジネスプロセス・リエンジニアリング)の徹底																																			
取組項目	(16) 事務事業の改善・見直し																																			
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>●R2年度から事業評価を実施し、その結果を行財政3ヵ年実施計画や予算編成に反映している。</li> <li>●既存事業について、他自治体との行政サービス水準の比較が不十分なまま実施されているものがある。</li> </ul>																																			
目標達成に向けた取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政サービス水準評価の実施</li> <li>・既存事業のスリム化に向けた基準の作成(事業評価の手引きの改善)</li> <li>・EBPMの手法を用いた新規事業提案の徹底</li> </ul>																																			
令和6年度末時点であるべき姿	既存事業の見直しやスリム化が図られ、行政資源が戦略的に分配されている。																																			
取組工程	令和4年度												令和5年度												令和6年度											
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
実施計画	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 20%; text-align: center;"> <p>行政評価実施による事業の改善/見直し</p> </div> <div style="width: 80%;"> <!-- 令和4年度 --> <p>● 評価シート改訂(4月)</p> <p>● → 1次評価(4月～6月)</p> <p>● 2次評価(6月)</p> <p>● → 評価結果を次年度予算編成に反映 ● 事業の見直し(7月～翌年1月)</p> <p>● → 施策評価シートの検討(8月～9月)</p> <!-- 令和5年度 --> <p>● → 施策評価、事業評価実施(1次評価)(4月～6月)</p> <p>● 2次評価(6月)</p> <p>● → 評価結果を次年度予算編成に反映 ● 事業の見直し(7月～翌年1月)</p> <p>● → 外部評価実施の検討(7月～10月)</p> <!-- 令和6年度 --> <p>● → 施策評価、事業評価の実施(1次評価)(4～6月) ※財務会計システムを活用</p> <p>● 2次評価(6月)</p> <p>● → 外部評価(10月)</p> <p>● → 評価結果を次年度予算編成に反映 ● 事業の見直し(7月～翌年1月)</p> </div> </div>																																			
	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 20%; text-align: center;"> <p>行政サービス水準評価を通じた事業の改善/見直し</p> </div> <div style="width: 80%;"> <!-- 令和4年度 --> <p>● 国・県補助事業の調査表改訂(4月)</p> <p>● 国・県補助事業決算状況の分析(8月)</p> <p>● 建設事業・公債費の水準設定</p> <p>● シーリング調書の改訂(9月)</p> <p>● 各部局での要求額精査(10月)</p> <p>● → 予算編成における精査(10月～翌年1月)</p> <!-- 令和5年度 --> <p>● 事業評価シートに独自事業の水準評価項目を追加(4月)</p> <p>● 事業評価と並行した独自事業の精査(5月～10月)</p> <p>● 各部局での要求額精査(10月)</p> <p>● → 予算編成における精査(10月～翌年1月)</p> <p>● → 分野別集計作業(1月～10月)</p> <!-- 令和6年度 --> <p>● → 要求ルール策定(1月～5月)</p> <p>● → 新規事業の追加調査(8月～10月)</p> <p>● 要求ルールによる各部局での要求額精査(10月)</p> <p>● → 水準評価を踏まえた予算編成(10月～翌年1月)</p> </div> </div>																																			

取組工程	令和4年度												令和5年度												令和6年度											
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
進捗状況 (実績・見込み)	<p>行政評価実施による事業の改善/見直し</p> <p>● 評価シート改訂(4月)</p> <p>● → 1次評価(4月～6月)</p> <p>● → 2次評価(6月～7月)</p> <p>● →</p> <p>・評価結果を次年度 予算編成に反映</p> <p>・事業の見直し (7月～翌年1月)</p> <p>● →</p> <p>施策評価シートの検討 (1月～2月)</p>																																			
	<p>行政サービス水準評価を通じた事業の改善/見直し</p> <p>● 国・県補助事業の調査表改訂(4月)</p> <p>● 国・県補助事業決算状況の分析(8月)</p> <p>● シーリング調書の改訂(9月)</p> <p>● 各部局での要求額精査(10月)</p> <p>● →</p> <p>予算編成における精査(10月～翌年1月)</p> <p>●</p> <p>建設事業・公債費の水準設定(12月)</p> <p>● →</p> <p>追加・補足調査(12月～翌年3月)</p>																																			
<p><b>3年間(R4-6年度)の具体的な取組内容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民や地域に対する成果を捉えるため、複数の事業を束ねた「施策」を対象とした施策評価を導入し、施策目標を達成するための事業を推進する上での優先度を判断していく。</li> <li>・行政評価の透明性・客観性を確保し、市民の視点から事業の改善を図るため、外部評価を導入する。</li> <li>・事業の分野・性質に応じたサービス水準の評価を行ったうえで、評価を踏まえた事業内容や優先度の精査を行っていく。</li> </ul>																																				
<p><b>R4上半期の取組実績(4月～9月)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4月に事業評価シートを改訂し、各事業について、より客観的な視点で評価を行った。この結果を事業の優先順位付けや見直しに生かしながら、行財政3ヵ年実施計画や令和5年度の予算要求に反映させた。</li> <li>・4月に従前の「国県支出金充当額調」の調査表を改訂し、国県支出金の水準評価を実施した。</li> <li>・9月に当初予算編成におけるシーリングの中で法定受託事務や法令義務付け事業の水準評価が行えるよう調書を改訂した。</li> </ul>																																				
<p><b>R4下半期の取組予定(10月～3月)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1月から2月にかけて複数の事業を束ねた「施策」を対象とした施策評価の導入に向けて、施策評価シートを作成する。</li> <li>・当初予算編成のシーリングの中で各部局にて法定受託事務や法令義務付け事業について、分析可能なものから評価を実施するほか、12月に建設事業費及び公債費等の水準設定に向けた検討を進める。</li> </ul>																																				

活動指標	指標名／説明		基準値	R4	R5	R6
	活動指標	行政評価	計画	—	施策評価試行	外部評価導入
実績			—			
行政サービス 水準評価		計画	—	評価制度導入	水準を踏まえた予算 要求ルール作成	サービス水準を 踏まえた予算要求 ルール徹底
		実績	—			
成果指標	指標名／説明		基準値	R4	R5	R6
	見直した事業数	計画	6 (R3)	10以上	10以上	10以上
		実績	—			
財政効果額(R4～R6の累計)		目標	3,000万円			
		実績				
備考						

行田市行財政集中改革プラン2022 進捗管理シート

柱	IV 持続可能な財政運営の実現		改革主管課	総合政策部企画政策課																															
改革	7歳入確保と歳出抑制による健全財政の堅持																																		
取組項目	(17) 使用料・手数料の見直し																																		
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>●前回(平成29年10月)の見直しから約4年が経過しているが、見直し時に消費税率10%を見込んで反映させている。</li> <li>●各事業のコストに相応しい適正な受益者負担(使用料・手数料)のあり方について分析を行い、必要に応じた改定を行うことを検討する。</li> </ul>																																		
目標達成に向けた取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「使用料・手数料見直し方針」の改訂</li> <li>・見直し対象となる使用料、手数料の洗い出し</li> <li>・各部署における見直し案の検討</li> <li>・例規改正</li> </ul>																																		
令和6年度末時点であるべき姿	使用料及び手数料の見直しにより、各サービスに見合った適切な受益者負担が設定されている。																																		
取組工程	令和4年度			令和5年度			令和6年度																												
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
実施計画	<p>使用料・手数料の見直し</p> <p>● 使用料・手数料の実態調査(8月～11月)</p> <p>● 各課ヒアリング(11月)</p> <p>● 分析(12月～翌年1月)</p> <p>● 適切な使用料・手数料の徴収に係る検討(随時)</p> <p>● 方針見直しの検討(随時)</p>																																		
進捗状況(実績・見込み)	<p>使用料・手数料の見直し</p> <p>● 使用料・手数料に係る他市の方針を研究(9月～10月)</p> <p>● 使用料・手数料の実態調査(1月～2月)</p> <p>● 各課ヒアリング(3月)</p> <p>● 適切な使用料・手数料の徴収に係る検討(随時)</p> <p>● 方針見直しの検討(随時)</p>																																		
3年間(R4-6年度)の具体的な取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行田市使用料・手数料見直し基本方針では、使用料・手数料を原則5年ごとに見直しすることとしている。</li> <li>・令和4年度に行う使用料・手数料に関する実態調査の結果に基づき、令和5年度・6年度に掛けて算定額や減免規定の見直しを検討する。</li> </ul>																																		
R4上半期の取組実績(4月～9月)	使用料・手数料に係る方針について、他市の事例研究を行い、算定方法や減免に関する考え方などを把握した。																																		
R4下半期の取組予定(10月～3月)	作成したシートを基に、全庁調査を実施し、必要に応じて関係各課にヒアリングを行う。																																		
活動指標	指標名/説明		基準値	R4	R5	R6																													
	使用料/手数料見直し		計画	—	検討/見直し	可能なものから見直し																													
成果指標	指標名/説明		基準値	R4	R5	R6																													
	見直しを行った事業数 (見直した事業/見直し可能事業)		計画	—	50%	100%																													
備考																																			

行田市行財政集中改革プラン2022 進捗管理シート

柱	IV 持続可能な財政運営の実現		改革主管課	都市整備部水道課 都市整備部下水道課 都市整備部上下水道経営課																																
改革	7歳入確保と歳出抑制による健全財政の堅持																																			
取組項目	(18) 地方公営企業の経営健全化																																			
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>●H30年3月に策定した行田市水道事業経営戦略に基づき、R2年4月に水道料金を改定し、経営基盤の強化を図っているが、引き続き、料金改定の検討を含め、健全経営の維持に向けた取組みを強化する必要がある。</li> <li>●下水道事業においては、近年、経費回収率が70%台で推移しており、下水道使用料収入では汚水処理費を賄えておらず、不足分は一般会計繰入金(基準外)に依存している。</li> <li>●将来に渡り安定的な下水道事業経営を行うことを目的として、R3年3月に行田市公共下水道事業経営戦略を策定</li> </ul>																																			
目標達成に向けた取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下水道使用料の最適化</li> <li>・水道事業の投資計画に基づく管路更新工事</li> </ul>																																			
令和6年度末時点であるべき姿	上・下水道事業の経営基盤の強化により、上・下水道サービスを安定的に提供している。																																			
取組工程	令和4年度			令和5年度			令和6年度																													
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
実施計画	下水道使用料の適正化 ● 使用料改定に係る技術的援助に関する協定締結(9月) ● 下水道審議会(2月) ● 下水道審議会へ諮問(5月) ● 下水道審議会(7月) ● 下水道審議会(8月) ● 下水道審議会(9月) ● 市長へ答申(10月) ● 関係例規改正(3月)						下水道審議会(10月) ● 施行(10月)						周知期間(4月～9月)																							
進捗状況(実績・見込み)	● 年間更新計画決定(4月) ● 設計委託(4月～翌年2月) ● 配水管布設替工事の実施(5月～翌年2月)						● 年間更新計画決定(4月) ● 設計委託(4月～翌年2月) ● 配水管布設替工事の実施(5月～翌年2月) ● 配水管布設替工事の実施債務負担分(2月～7月)						● 年間更新計画決定(4月) ● 設計委託(4月～翌年2月) ● 配水管布設替工事の実施(5月～翌年2月) ● 配水管布設替工事の実施債務負担分(2～7月)																							

3年間(R4-6年度)の具体的な取組内容		<ul style="list-style-type: none"> <li>・安定的かつ持続的な下水道事業を運営するため、使用の態様に応じ妥当かつ適正な使用料に改定する。</li> <li>・水道事業については経営戦略に掲げた投資・財政計画に基づき、水道の安定供給及び経営基盤の強化を図る。</li> </ul>				
R4上半期の取組実績(4月～9月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月に決定した下水道事業年間更新計画に基づき、順次工事等を発注した。</li> </ul>					
R4下半期の取組予定(10月～3月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10月に下水道使用料改定に係る技術的援助に関する協定を締結する。</li> <li>・2月に下水道使用料改定に係る技術的援助に関する協定内容を審議会に報告する。</li> <li>・水道事業年間計画に基づき、計画に沿った工事等を進める。</li> <li>・工事の平準化を図る</li> </ul>					
活動指標	指標名／説明		基準値	R4	R5	R6
	下水道使用料適正化	計画	—	方針決定	準備	使用料の改定
		実績	—			
	水道管路整備延長(各年)	計画	—	4km	6km	6km
実績		—				
成果指標	指標名／説明		基準値	R4	R5	R6
	下水道事業経費回収率	計画	72.7%	76.9%	78.1%	90.8%
		実績	—			
	水道管路耐震化率	計画	26.9%	28.1%	28.9%	29.7%
実績		—				
備考						

行田市行財政集中改革プラン2022 進捗管理シート

柱	IV 持続可能な財政運営の実現		改革主管課	総務部税務課 総合政策部企画政策課 総合政策部財産管理課																																
改革	7歳入確保と歳出抑制による健全財政の堅持																																			
取組項目	(19) 自主財源確保の取組強化① (市税収入)																																			
現状と課題	●《市税収入》 金融機関に対する財産調査を紙ベースで実施しているため、調査完了までに時間と手間が掛かっている。更なる収納率向上の取組みに注力できる環境を構築する必要がある。																																			
目標達成に向けた取組み	《市税収入》 ・財産調査のオンライン化																																			
令和6年度末時点であるべき姿	市税の収納率向上とともに、市税以外の新たな収入確保が進み、安定的な財政基盤が構築されている。																																			
取組工程	令和4年度												令和5年度												令和6年度											
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
実施計画	<p>● 導入完了(4月)</p> <p>● —————▶</p> <p>効果的なデータ連携及び内容確認方法の検討実施(4月～9月)</p> <p>● —————▶</p> <p>運用(通年)</p> <p>● —————▶</p> <p>運用(通年)</p> <p>● —————▶</p> <p>運用(通年)</p>																																			
捗状況(実績・見込み)	<p>● 導入完了(4月)</p> <p>● —————▶</p> <p>効果的なデータ連携及び内容確認方法の検討実施(4月～9月)</p> <p>● —————▶</p> <p>運用(通年)</p>																																			
3年間(R4～6年度)の具体的な取組内容	<p>・導入したシステム(pipitLINQ)と基幹系システムの円滑なデータ連携を図り、効率的に財産調査を実施する。</p>																																			
R4上半期の取組実績(4月～9月)	<p>・4月に新たなシステムを導入し、運用を開始した。</p> <p>・基幹系システムとのデータ連携を図るために、4月に導入したシステムのデータ構成を分析し、効率的に基幹系システムに反映できる方法を構築した。</p>																																			
R4下半期の取組予定(10月～3月)	<p>・財産調査の実施について、導入済みのシステムが対応可能となる金融機関の増加が見込まれるため、取扱情報を定期的に確認し、引き続き、効果的なシステムの運用方法を研究する。</p>																																			
活動指標	指標名/説明		基準値	R4	R5	R6																														
	財産調査のオンライン化		計画	—	準備/運用	運用	————▶																													
成果指標	指標名/説明		基準値	R4	R5	R6																														
	市税収納率		計画	97.23%(R2)	97.5%	97.7%	97.9%																													
財政効果額(R4～R6の累計)	目標		1億円																																	
	実績																																			
備考																																				



行田市行財政集中改革プラン2022 進捗管理シート

柱	IV 持続可能な財政運営の実現		改革主管課	総務部税務課 総合政策部企画政策課 総合政策部財産管理課																															
改革	7歳入確保と歳出抑制による健全財政の堅持																																		
取組項目	(19) 自主財源確保の取組強化② (ふるさと納税)																																		
現状と課題	●《市税以外の歳入確保策》 ふるさと納税や広告収入、遊休市有地の売却等を通じた財源確保の他、更なる財政健全化を図るため、新たな収入確保の検討が必要である																																		
目標達成に向けた取組み	《市税以外の歳入確保策》 ・これまでの取組み(ふるさと納税)の強化																																		
令和6年度末時点であるべき姿	市税の収率率向上とともに、市税以外の新たな収入確保が進み、安定的な財政基盤が構築されている。																																		
取組工程	令和4年度			令和5年度			令和6年度																												
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
実施計画	ふるさと納税の更なる推進			ふるさと納税の更なる推進			ふるさと納税の更なる推進			ふるさと納税の更なる推進			ふるさと納税の更なる推進			ふるさと納税の更なる推進			ふるさと納税の更なる推進			ふるさと納税の更なる推進													
	ふるさと納税の更なる推進			ふるさと納税の更なる推進			ふるさと納税の更なる推進			ふるさと納税の更なる推進			ふるさと納税の更なる推進			ふるさと納税の更なる推進			ふるさと納税の更なる推進			ふるさと納税の更なる推進													
進捗状況(実績・見込み)	ふるさと納税の更なる推進			ふるさと納税の更なる推進			ふるさと納税の更なる推進			ふるさと納税の更なる推進			ふるさと納税の更なる推進			ふるさと納税の更なる推進			ふるさと納税の更なる推進			ふるさと納税の更なる推進													
	ふるさと納税の更なる推進			ふるさと納税の更なる推進			ふるさと納税の更なる推進			ふるさと納税の更なる推進			ふるさと納税の更なる推進			ふるさと納税の更なる推進			ふるさと納税の更なる推進			ふるさと納税の更なる推進													

<p>3年間(R4-6年度)の具体的な取組内容</p>	<p>&lt;ふるさと納税のさらなる推進&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各ポータルサイト、他自治体のふるさと納税実施状況を調査研究し、追加ポータルサイトの検討、ふるさと納税寄附金の使途の見直しを行う。</li> <li>市内事業者に対して、ふるさと納税制度を周知し、新規返礼品提供事業者の開拓、新規返礼品を追加する。</li> <li>これまでの寄附者に対してDM等によりアプローチをかけ、リピーターを確保する。</li> <li>ポータルサイト、市ホームページ等を活用し、返礼品のPRを行う。</li> </ul> <p>&lt;クラウドファンディング型ふるさと納税、企業版ふるさと納税による財源確保&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>クラウドファンディング型ふるさと納税、企業版ふるさと納税を活用する事業、実施スケジュールを検討し、方針を決定する。</li> <li>様々な民間事業者に対して、訪問等による企業版ふるさと納税制度を周知する。</li> <li>ポータルサイト、市ホームページ等に特集ページを作成し、クラウドファンディング型ふるさと納税、企業版ふるさと納税のPR、寄附募集を行う。</li> </ul>					
<p>R4上半期の取組実績 (4月～9月)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>寄附窓口の拡大のため、7月から新たなポータルサイトによる寄附の受入れを開始した。</li> <li>7月から8月にかけて令和5年度からのポータルサイトの追加導入に向けて、各サイトの比較検討を行った。</li> <li>返礼品の拡充を図るため市内事業者を訪問し、商工会議所の総会で制度の周知を図った。</li> <li>クラウドファンディング型ふるさと納税を活用した寄附募集に向けて、対象事業の検討や他自治体の事例研究などの準備を開始した。</li> </ul>					
<p>R4下半期の取組予定 (10月～3月)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>11月から翌年1月にかけて令和5年度のふるさと納税ポータルサイト追加導入に向けた準備を開始する。</li> <li>引き続き、返礼品の拡充を図るため、市内事業者を訪問するなどして制度の周知を行い、返礼品の登録を働き掛ける。また、ふるさと納税返礼品を寄附者にPRするため、各ポータルサイトの充実を図る。</li> <li>クラウドファンディング型ふるさと納税の実施のため、寄付金の使途事業や募集方法、スケジュールを検討する。</li> <li>企業版ふるさと納税についてポータルサイトを活用した周知を行うための準備をする。</li> </ul>					
<p>活動指標</p>	<p>指標名/説明</p>		<p>基準値</p>	<p>R4</p>	<p>R5</p>	<p>R6</p>
	<p>新たな自主財源の確保</p>	<p>計画</p>	<p>—</p>	<p>検討/準備</p>	<p>実施</p>	<p>—————▶</p>
<p>実績</p>		<p>—</p>				
<p>成果指標</p>	<p>指標名/説明</p>		<p>基準値</p>	<p>R4</p>	<p>R5</p>	<p>R6</p>
	<p>市税以外の自主財源確保額</p>	<p>計画</p>	<p>1,715万円(R2)</p>	<p>1,900万円以上</p>	<p>2,400万円以上</p>	<p>2,900万円以上</p>
<p>実績</p>		<p>—</p>				
<p>財政効果額(R4～R6の累計)</p>	<p>目標</p>	<p>1億円</p>				
	<p>実績</p>					
<p>備考</p>						

行田市行財政集中改革プラン2022 進捗管理シート

柱	IV 持続可能な財政運営の実現		改革主管課	総務部税務課 総合政策部企画政策課 総合政策部財産管理課																				
改革	7歳入確保と歳出抑制による健全財政の堅持																							
取組項目	(19) 自主財源確保の取組強化③ (新たな収入確保策・広告収入・自動販売機設置に係る入札)																							
現状と課題	●《市税以外の歳入確保策》 ふるさと納税や広告収入、遊休市有地の売却等を通じた財源確保の他、更なる財政健全化を図るため、新たな収入確保の検討が必要である																							
目標達成に向けた取組み	《市税以外の歳入確保策》 ・新たな収入確保策の掘り起こし ・これまでの取組み(広告収入)の強化 ・これまでの取組み(自動販売機設置に係る入札)の強化 ・遊休市有地の売却/貸付																							
令和6年度末時点であるべき姿	市税の収納率向上とともに、市税以外の新たな収入確保が進み、安定的な財政基盤が構築されている。																							
取組工程	令和4年度			令和5年度			令和6年度																	
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
実施計画	●																							
	●																							
	●																							
	●																							
新たな収入確保策の創出	●			●			●			●			●			●			●			●		
自主財源確保に向けた広告収入の実施	●			●			●			●			●			●			●			●		
自主財源確保に向けた自動販売機入札の実施	●			●			●			●			●			●			●			●		
自主財源確保や維持管理コスト縮減に向けた、遊休市有地の売却・貸付への取組み	●			●			●			●			●			●			●			●		
<p>令和4年度: 先進事例の収集(随時) 実施可能な収入確保策を実施(随時)</p> <p>令和5年度: 先進事例の収集(随時) 実施可能な収入確保策を実施(随時)</p> <p>令和6年度: 先進事例の収集(随時) 実施可能な収入確保策を実施(随時)</p> <p>令和4年度: 広告事業の実施状況調査(9月～11月)</p> <p>令和5年度: 導入可能な媒体から広告事業を実施(随時)</p> <p>令和6年度: 導入可能な媒体から広告事業を実施(随時)</p> <p>令和4年度: 導入施設選定(10月～翌年1月) 公募(2月) 設置業者決定(3月)</p> <p>令和5年度: R4決定分の自動販売機設置(2年間) 導入施設選定(10月～翌年1月) 公募(2月) 設置業者決定(3月)</p> <p>令和6年度: R5決定分の自動販売機設置(2年間) 導入施設選定(10月～翌年1月) 公募(2月) 設置業者決定(3月)</p> <p>令和4年度: 対象地の洗い出し・売却、周知手法の検討(4月～7月) 物件概要作成(8月～10月) 売却・貸付に向けた広報(11月～翌年3月) 随時売払い(11月～)3箇所</p> <p>令和5年度: 対象地の洗い出し(4月～6月) 物件概要作成(7月～10月) 境界確定・測量・鑑定評価・要領作成(7～11月) 一般競争入札告示(11月) 入札手続き(11月～翌年3月) 売却・貸付に向けた広報(通年)</p> <p>令和6年度: 対象地の洗い出し(4月～6月) 物件概要作成(7月～10月) 境界確定・測量・鑑定評価・要領作成(7～11月) 一般競争入札告示(11月) 入札手続き(11月～翌年3月) 売却・貸付に向けた広報(通年)</p>																								

取組工程	令和4年度												令和5年度												令和6年度												
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
進捗状況 (実績・見込み)	新たな収入確保策の創出	● 先進事例の収集(随時) →																																			
		● 実施可能な収入確保策を実施(随時) →																																			
	自主財源確保に向けた広告収入の実施	● 先進事例の収集(随時) →																																			
		● 広告事業の実施状況調査(11月)																																			
	自主財源確保に向けた自動販売機入札の実施	● 導入施設選定(10月～翌年1月) →																																			
		● 公募(2月) ●																																			
		● 設置業者決定(3月) ●																																			
	自主財源確保や維持管理コスト削減に向けた、遊休市有地の売却・貸付への取組み	● 対象地の洗い出し ● 売却/周知手法の検討(4月～7月) →																																			
		● 物件概要作成(8月～10月) →																																			
		● 売却・貸付に向けた広報活動(12月～翌年3月) →																																			
		● 随時売払い(12月～)3箇所 →																																			
		● 売却等検討物件リスト公表(9月～) →																																			
3年間(R4-6年度)の具体的な取組内容		<ul style="list-style-type: none"> <li>新たな収入確保の取組みに関する先進事例を収集し、実現に向けて各所属に対して働き掛けを行う。</li> <li>既存の広告媒体を活用した収入確保策について状況を把握するとともに、新たな媒体についても開拓し、さらなる増収を図る。</li> <li>自動販売機について、公募の条件等をそろえ、毎年入札を実施する。</li> <li>遊休市有地で売却や貸付など利活用が見込める土地を幅広くリストアップし、市ホームページ等に掲載し広報することで、積極的かつ効果的な利活用を推進する。</li> </ul>																																			
R4上半期の取組実績(4月～9月)		<ul style="list-style-type: none"> <li>売却・貸付できる可能性の高い市有地を4月から洗い出した上で最終的に8箇所選定し、9月に売却等検討物件リストとして市ホームページに物件概要を掲載した。</li> </ul>																																			
R4下半期の取組予定(10月～3月)		<ul style="list-style-type: none"> <li>11月に全所属に対して広告事業の実施状況調査を実施し、新たな広告媒体の発掘に注力していく。</li> <li>市有地3箇所に対して随時募集(先着順)による売却を実施するため、12月から案内書を配布し、1月から受付を開始する。</li> <li>自動販売機を入札により設置する施設を1月までに選定し、同時に公募要領等を作成する。</li> <li>2月に公募を開始し、3月までに自動販売機の設置業者を決定する。</li> </ul>																																			

活動指標	指標名／説明		基準値	R4	R5	R6
	活動指標	新たな自主財源の確保	計画	—	検討/準備	実施
実績			—			
遊休市有地の売却/貸付		計画	—	実施	→	→
		実績	—			
成果指標	指標名／説明		基準値	R4	R5	R6
	市税以外の自主財源確保額	計画	1,715万円 (R2)	1,900万円以上	2,400万円以上	2,900万円以上
実績		—				
成果指標	遊休市有地売却/貸付額	計画	2,200万円 (R2)	1,000万円以上	1,000万円以上	1,000万円以上
		実績	—			
財政効果額(R4~R6の累計)		目標	1億円			
		実績				
備考						

行田市行財政集中改革プラン2022 進捗管理シート

柱	IV 持続可能な財政運営の実現		改革主管課	総合政策部財政課																																
改革	7歳入確保と歳出抑制による健全財政の堅持																																			
取組項目	(20) 補助金の見直し																																			
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>●補助金等調査委員会の答申(平成28年11月)を受けて、廃止や見直しを進めてきた。</li> <li>●新たな補助金や既存の補助金の給付等により経常補助金(単独分)は直近5年間で約1,950万円増加となっており、更なる見直しが必要となっている。</li> </ul>																																			
目標達成に向けた取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・補助金の見直し方針の策定</li> <li>・補助金の総点検による補助金評価シートの作成</li> <li>・総点検の結果を踏まえた自主的な見直し</li> </ul>																																			
令和6年度末時点であるべき姿	補助金の必要性精査により見直しが進み、財政負担が軽減されている。																																			
取組工程	令和4年度			令和5年度			令和6年度																													
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
実施計画	<p>補助金の見直しに向けた総点検/評価を踏まえた見直しの実施</p> <p>令和4年度: チェックシート作成(7月~8月), チェックシートによる総点検(9月~10月), 総点検を踏まえた見直し(10月~翌年3月)</p> <p>令和5年度: 方針策定(4月~9月), 方針を踏まえた見直し(10月~翌年3月), 評価シート作成(10月~翌年3月)</p> <p>令和6年度: 見直しスケジュール作成(4月~9月), 評価シート公表(4月~9月), 評価シート及びスケジュールを踏まえた見直し(10月~翌年3月)</p>																																			
進捗状況(実績・見込み)	<p>補助金の見直しに向けた総点検/評価を踏まえた見直しの実施</p> <p>令和4年度: チェックシート作成(7月~9月), チェックシートによる総点検(10月~12月), 追加・補足調査(11月~翌年3月), 総点検を踏まえた見直し(10月~翌年3月)</p>																																			
3年間(R4~6年度)の具体的な取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チェックシートによる総点検を実施し、総点検を踏まえた方針を策定する。</li> <li>・評価シートの作成及び公表により、自主的な見直しを図っていく。</li> </ul>																																			
R4上半期の取組実績(4月~9月)	・9月に補助金等の見直しに向けたチェックシートを作成した。																																			
R4下半期の取組予定(10月~3月)	・10月以降の令和5年度当初予算編成時に各所属においてチェックシートを用いた総点検を実施し、可能なものから補助金等の見直しを図る。																																			

活動指標	指標名／説明		基準値	R4	R5	R6
	補助金の見直し	計画		—	チェックシート作成による総点検	・総点検を踏まえた方針策定 ・評価シート作成
実績			—			
成果指標	指標名／説明		基準値	R4	R5	R6
	見直しによる歳出削減額	計画		—	50万円	50万円
実績			—			
財政効果額(R4～R6の累計)		目標	600万円			
		実績				
備考						

行田市行財政集中改革プラン2022 進捗管理シート

柱	IV 持続可能な財政運営の実現		改革主管課	総合政策部財産管理課																																
改革	8 市有施設等の適正な管理・活用																																			
取組項目	(21) 遊休市有地等の有効活用																																			
現状と課題	<p>●遊休市有地の維持には、必要最低限の管理費用(環境整備等)を負担する必要がある。そのため、行政による利活用を検討しつつ、将来的な利活用が見込めない未利用財産は、売却や貸付による有効活用を推進している。</p> <p>●地域の活性化につながるが見込まれる学校跡地の利活用については、地域の実情や民間事業者のニーズを踏まえた検討が求められている。</p>																																			
目標達成に向けた取組み	<p>《遊休市有地》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の利活用希望調査</li> <li>・遊休市有地の利活用/売却/貸付</li> </ul> <p>《学校跡地》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民のニーズ調査</li> <li>・サウンディング調査</li> </ul>																																			
令和6年度末時点であるべき姿	遊休市有地や施設が利活用され、地域の賑わいの形成や魅力向上につながっている。																																			
取組工程	令和4年度			令和5年度			令和6年度																													
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
実施計画	<p>自主財源確保や維持管理コスト縮減に向けた、遊休市有地の利活用に向けた取組み</p> <p>●対象地の洗い出し ●売却/周知手法の検討(4月～7月)</p> <p>●物件概要作成(8月～10月)</p> <p>●売却・貸付に向けた広報活動(11月～翌年3月)</p> <p>●随時売払い(11月～)3箇所</p> <p>●売却・貸付に向けた広報活動(通年)</p> <p>●対象地の洗い出し(4月～6月)</p> <p>●物件概要作成(7月～10月)</p> <p>●境界確定・測量 ●鑑定評価 ●要領作成(7月～11月)</p> <p>●一般競争入札告示(11月)</p> <p>●入札手続き(11月～翌年3月)</p> <p>●売却・貸付に向けた広報活動(通年)</p> <p>●対象地の洗い出し(4月～6月)</p> <p>●物件概要作成(7月～10月)</p> <p>●境界確定・測量 ●鑑定評価 ●要領作成(7月～11月)</p> <p>●一般競争入札告示(11月)</p> <p>●入札手続き(11月～翌年3月)</p>																																			
	<p>閉校した学校の新たな利活用</p> <p>●コンサル業者選定(6月)</p> <p>●住民アンケート(北河原小・須加小)(8月～9月)</p> <p>●サウンディング調査(9月～11月)</p> <p>●住民懇談会(北河原小・須加小)(10月～11月)</p> <p>●個別活用計画策定(北河原小・須加小)(3月)</p> <p>●実施要領作成(北河原小・須加小)(4月～6月)</p> <p>●公募(9月)</p> <p>●北河原小・須加小利活用事業者決定(11月)</p> <p>●住民アンケート(太田東小)(8月～9月)</p> <p>●住民懇談会(太田東小)(10月、11月)</p> <p>●個別活用計画策定(太田東小)(3月)</p> <p>●北河原小、須加小における利活用準備/開始(通年)</p> <p>●実施要領作成(太田東小)(4月～6月)</p> <p>●公募(9月)</p> <p>●太田東小利活用事業者決定(11月)</p>																																			



取組工程	令和4年度												令和5年度												令和6年度											
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
進捗状況 (実績・見込み)	<p>自主財源確保や維持管理コスト削減に向けた、遊休市有地の利活用に向けた取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 対象地の洗い出し ● 売却/周知手法の検討(4月～7月)</li> <li>● 物件概要作成(8月～10月)</li> <li>● 売却・貸付に向けた広報活動(12月～翌年3月)</li> <li>● 随時売払い(12月～)3箇所</li> <li>● 売却等検討物件リスト公表(9月～)</li> </ul>																																			
	<p>閉校した学校の新たな利活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● コンサル業者選定(7月)</li> <li>● 住民アンケート(北河原小・須加小)(8月～9月)</li> <li>● サウンディング調査(9月～10月)</li> <li>● 住民懇談会(北河原小・須加小)(10月～11月)</li> <li>● 個別活用計画策定(北河原小・須加小)(3月)</li> </ul>																																			
3年間(R4-6年度)の具体的な取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊休市有地で売却や貸付など利活用が見込める土地を幅広くリストアップし、市のホームページに掲載し広報活動することで、積極的かつ効果的な利活用の推進を行う。</li> <li>・旧北河原小、旧須加小、太田東小跡地について、住民アンケートや民間事業者のニーズ調査を踏まえた上で、個別の活用計画を策定し、計画に沿って活用方法を決定し、実際の利活用を図る。</li> </ul>																																			
R4上半期の取組実績(4月～9月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・売却・貸付できる可能性の高い市有地を4月から洗い出した上で最終的に8箇所選定し、9月に売却等検討物件リストとして市ホームページに物件概要を掲載した。</li> <li>・7月に旧北河原小学校及び旧須加小学校の跡地活用を検討するための事業者を選定した。</li> <li>・8月から9月にかけて北河原地区、須加地区の住民を対象としてアンケートを実施したほか、10月のサウンディング調査に向けて9月中旬に様式を整えるなど準備を進めた。</li> </ul>																																			
R4下半期の取組予定(10月～3月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10月、11月に地元住民とのワークショップ形式の懇談会を開催する。また、10月にサウンディング調査で提案をした事業者とヒアリングを行う。</li> <li>・随時募集(先着順)による市有地売却を実施するため、12月から案内書を配布し、1月から受付を開始する。</li> <li>・今後は、必要に応じ追加でサウンディング調査を実施し、住民ニーズと民間ニーズを踏まえ年度末までに旧北河原小学校及び旧須加小学校の活用方針を定めた個別活用計画を策定する。</li> </ul>																																			

活動指標	指標名／説明		基準値	R4	R5	R6
	活動指標	遊休市有地の新規利活用/売却/貸付	計画	—	実施	→
実績			—			
学校跡地利活用 (北河原小・須加小)		計画	—	・住民アンケート ・サウンディング調査 ・個別活用計画策定	業者選定 用途決定	利活用開始
		実績	—			
成果指標	指標名／説明		基準値	R4	R5	R6
	新規遊休市有地 活用数(累計)	計画	—	2/36	4/36	6/36
		実績	—			
	活用用途を定めた 施設数	計画	—	0	2	2
実績		—				
備考						

行田市行財政集中改革プラン2022 進捗管理シート

柱	IV 持続可能な財政運営の実現		改革主管課	消防本部消防総務課																																
改革	8 市有施設等の適正な管理・活用																																			
取組項目	(22) 常備消防(分署)の整理統合																																			
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>●現在、1本部1署3分署(北分署・西分署・南分署)体制で消防・救急業務を運用している。</li> <li>●高齢化の影響による救急需要の増加及び地球温暖化の影響による自然災害が激甚化している。</li> <li>●様々な消防需要に対応するため、現在の出動体制を見直す必要がある。</li> </ul>																																			
目標達成に向けた取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南分署の廃止(本署への統合)の周知</li> <li>・職員配置、勤務体制の見直し</li> <li>・消防車両の配置見直し</li> </ul>																																			
令和6年度末時点であるべき姿	1本部1署2分署体制で消防業務を運用し、出動体制が強化されている。																																			
取組工程	令和4年度												令和5年度												令和6年度											
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
実施計画	<p>●市報、ホームページによる周知(4月)</p> <p>●職員配置、勤務体制、車両配置見直し(4月～9月)</p> <p>●市報、ホームページ、自治会回覧(埼玉地区、下忍地区)による周知(9月)</p> <p>●試行的運用(10月～翌年3月)</p> <p>●勤務体制、訓練の充実、市内全域への現場到着時間、車両配備体制の検証(1月～3月)</p> <p>●検証結果公表 新体制運用周知(3月)</p> <p>●新体制運用開始(4月～)</p> <p>●出動体制の強化、訓練の充実について検証(4月)</p>																																			
進捗状況(実績・見込み)	<p>●市報、ホームページによる周知(4月)</p> <p>●職員配置、勤務体制、車両配置見直し(4月～9月)</p> <p>●市報、ホームページ、自治会回覧(埼玉地区、下忍地区)による周知(9月)</p> <p>●試行的運用(10月～翌年3月)</p> <p>●勤務体制、訓練の充実、市内全域への現場到着時間、車両配備体制の検証(1月～3月)</p> <p>●検証結果公表 新体制運用周知(3月)</p>																																			

3年間(R4-6年度)の具体的な取組内容	・令和4年10月から1本部1署2分署体制の試行的運用を開始し、検証等を行い、令和5年度からの本格的運用につなげていく。					
R4上半期の取組実績(4月～9月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月に市報やホームページにおいて、令和4年2月に策定した「行田市消防署再編計画」を周知し、10月からの試行的閉鎖に向け職員配置、勤務体制、車両配置見直しなど準備を開始した。</li> <li>・9月に市報やホームページ並びに南分署管内(埼玉地区、下忍地区)の自治会の回覧において、10月から試行的運用による南分署の閉鎖及びその間に消防体制の検証を行う旨を周知し、運用に向けた準備を行った。</li> </ul>					
R4下半期の取組予定(10月～3月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10月から南分署を試行的に閉鎖し、勤務体制、訓練の充実、市内全域への現場到着時間、車両配備体制のデータを収集・検証する。</li> <li>・3月に上記検証結果を公表し、令和5年度から新体制で運用する旨を広く周知する。</li> <li>・令和5年度からの南分署の統廃合に備え、事務手続きを精査するとともに例規の改正なども視野に入れて準備を行う。</li> </ul>					
活動指標	指標名/説明		基準値	R4	R5	R6
	分署の再編	計画	—	1本部1署2分署での試行運用	1本部1署2分署体制での運用開始	新体制継続/検証
成果指標	指標名/説明		基準値	R4	R5	R6
	救急救命士が2名搭乗している救急車数	計画	1台(R3)	2台(試行)	3台	3台
		実績	—			
	災害出動時に消防自動車へ搭乗する人員数	計画	3人/台(R3)	4人/台(試行)	4人/台	4人/台
実績		—				
備考						

行田市行財政集中改革プラン2022 進捗管理シート

柱	IV 持続可能な財政運営の実現		改革主管課	総合政策部財産管理課 施設所管課																																
改革	8 市有施設等の適正な管理・活用																																			
取組項目	(23) 公共施設におけるLED化の推進																																			
現状と課題	<p>●現在、多くの公共施設で主に蛍光灯を使用しているが、各施設の照明機器に関する情報が一元管理されていない。</p> <p>●温室効果ガスを削減するため、照明機器を計画的に省力化タイプに更新する必要があるが実行できていない。そのため、「行田市公共施設LED化推進計画」の策定作業に着手している。</p>																																			
目標達成に向けた取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>各施設の情報集約</li> <li>切替手法(買取り、リースなど)の検討</li> <li>工事実施</li> </ul>																																			
令和6年度末時点であるべき姿	公共施設の照明を計画的にLED化することにより、電力消費量が削減され、併せてカーボンニュートラルへの取組みも推進している。																																			
取組工程	令和4年度			令和5年度			令和6年度																													
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
実施計画	<p>● 計画策定(8月)</p> <p>● 対象施設との調整(8月～10月)</p> <p>● R5導入施設の設計(10月～翌年3月)</p>						<p>● 対象施設との調整(4月～10月)</p> <p>● R5導入施設の工事施工(7月～翌年3月)</p> <p>● R6導入施設の設計(10月～翌年3月)</p>						<p>● 対象施設との調整(4月～10月)</p> <p>● R6導入施設の工事施工(7月～翌年3月)</p> <p>● R7導入施設の設計(10月～翌年3月)</p> <p>● R8以降導入施設選定(5月)</p>																							
進捗状況(実績・見込み)	<p>● 計画策定(8月)</p> <p>● 対象施設の調整(8月)</p> <p>● R5導入施設の設計(1月～8月)</p>																																			
3年間(R4～6年度)の具体的な取組内容	<p>「行田市公共施設照明LED化推進計画」を策定し、当該計画に基づき、対象施設における最適な切替手法(工事・リース等)で令和6年度までに第1期対象施設におけるLED化率51.8%を目指す。</p>																																			
R4上半期の取組実績(4月～9月)	<p>令和4年2月に全庁的に実施した「公共施設の照明に係る調査」の結果に基づき、「行田市公共施設照明LED化基本計画」を8月に策定した。</p> <p>令和5年度にLED照明を導入する予定の施設所管課と調整した。</p>																																			
R4下半期の取組予定(10月～3月)	<p>令和5年度にLED照明を導入するために、導入予定施設の設計を実施する。</p>																																			
活動指標	指標名/説明		基準値		R4	R5	R6																													
	LED機器への切り替え	計画	—		切替準備	工事実施	工事実施																													
実績		—																																		
成果指標	指標名/説明		基準値		R4	R5	R6																													
	対象施設におけるLED化完了施設の割合(累計)	計画	—		—	25%	50%																													
実績		—		—																																
備考																																				